

アルゼンチン自動車及び自動車部品産業調査報告書

2018年1月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
ブエノスアイレス事務所

【免責条項】

本調査レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本調査で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

要旨

- アルゼンチンには11カ所の自動車製造工場があり、2017年の生産台数は47万2,158台となり、7万人の直接雇用を生み出している。この生産水準は世界第24位で、世界の生産量の0.5%を占めている。
- アルゼンチン国内で稼働している工場はフィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ（GM）、ホンダ、イベコ、メルセデス・ベンツ、PSA（プジョー・シトロエン）、スカニア、トヨタ、ルノー・日産、フォルクスワーゲンで、乗用車、ユーティリティー車（多目的車）、トラックを含む20車種を生産している。
- 2003年から2011年にかけて、アルゼンチンの自動車産業は、国内外マーケットの需要によって年平均20%の高い持続的成長を遂げた。2011年には82万8,771台が生産され、過去最高を記録した。
- 2012年から2016年にかけて、アルゼンチンの自動車生産は、輸出の減少によって大きく落ち込んだ。2016年の輸出台数は、2011年のほぼ半分に減少した。輸出減少の要因としては、アルゼンチンの主要貿易相手国であるブラジルの急激な景気後退と実質的なペソ高による競争力の喪失がある。
- アルゼンチン自動車産業の輸出先は多角化されておらず、開発途上国への依存が大きい。これがこの業界の脆弱性が語られる一因となっている。
- 2013年、国内では96万3,000台の自動車が発売され、過去最高を記録した。インフレおよび選挙の年につきものの進まないペソ安が相まって、アルゼンチン人が資金の安全な避難場所（米ドルや自動車など）と考える商品を購入するインセンティブを生み出した。
- 現在、自動車生産は再び回復の兆候を見せ始めており、2013年以降に見られるピックアップトラックやユーティリティー車の生産に特化する業界の傾向が強まってきている。
- 2003年以来、フォルクスワーゲン「ゴル」が売り上げトップのモデルだったが、2016年のランキングでは軽商用車のトヨタ「ハイラックス」が最も売れた。
- 農業生産者の利益が高いほど、ピックアップトラックやユーティリティー車などの資本財の需要が増加する。
- 現在のマクロ経済情勢の中では、自動車の国内需要は高まっている。購買力が回復し、メーカー側が自動車購入資金を積極的に融資したことが、販売をさらに活発にさせる要因となっている。
- 輸入車は、自動車販売の売上高を牽引しており、2017年ではアルゼンチン市場で販売される台数の約7割を占めている。
- 2017年3月に発表された「自動車協定」は、年間生産台数を2023年までに100万台まで引き上げ、新たに3万人の雇用創出を目標に掲げている。
- 2016年には「自動車部品産業活性化法」が制定され、同産業における国産化率の上昇と国産自動車部品供給の発展を促すことを目的にしている。
- 今後のアルゼンチンの自動車生産における見通しは楽観的だ。主な要因としては、ブラジル経済の回復と、アルゼンチンの国内市場で需要が顕著に伸びていることが挙げられる。

- アルゼンチンには約 400 社の自動車部品メーカーがあり、うち 203 社がアルゼンチン自動車部品工業会(AFAC)に加盟している。全加盟社のうち、約 200 社がティア 1、ティア 2 のいずれかに相当する。2014 年、アルゼンチンの自動車部品産業は GDP の 0.37%、国内製造業の 3.68%を占めていた。
- 自動車部品産業の売上高の半分は自動車メーカーに販売され、25%はアフターマーケットへ向かう。10%は輸出され、15%が自動車部品サプライヤーと農業機械市場に販売される。部品は、自動車の工場出荷価格の 65%から 70%を占めていると推定される。
- 自動車生産の増加により、2002 年以降の自動車部品産業における貿易収支は、構造的な赤字となっている。アルゼンチン自動車産業では国産化率が低いため、自動車生産の増加に伴い、自動車部品輸入も増加し、正比例する形となっている。
- アルゼンチン自動車産業において、外国産自動車部品の使用が増加していることが明らかになっている。2014 年から 2016 年にかけて、アルゼンチンの自動車部品輸出は減少を続けている。輸出先としてほぼ 60%を占めるブラジルの自動車産業の縮小が原因である。
- アルゼンチンの自動車部品産業は回復期にあり、政治およびマクロ経済における変化や、過去 20 年間にわたる南米地域間貿易から得た経験の結果として、新しい特性を備えてきている。国内市場の変動性、ブラジル市場への依存など、短期ではなく中長期を見据えた新たな戦略が求められている。

目次

1. アルゼンチンの自動車産業	6
1.1. アルゼンチン自動車市場の概要	6
1.1.1. 歴史的背景	6
1.1.2. 現状	6
ボックス 1: 2017 年の「自動車協定」	9
1.2. 販売	10
1.3. 輸出入	15
ボックス 2: 輸入の総合モニタリングシステム	17
ボックス 3: アルゼンチン・ブラジルの二国間貿易	17
1.4. アルゼンチンの自動車製造工場	20
1.5. 主な自動車政策	22
1.5.1. 2017 年自動車協定	23
1.5.2. アルゼンチン自動車部品産業活性化法	24
1.5.3. 輸出に対する払い戻し（政令 294/2017 号）	24
ボックス 4: インセンティブ、現在の輸入制度	25
1.5.4. 電気自動車輸入のための政策（政令 331/2017 号）	25
1.6. 今後の見通し	26
1.6.1. 民間調査会社による自動車産業の見通し	26
1.6.2. 自動車産業の SWOT 分析	28
2. 自動車部品産業	29
2.1. アルゼンチンの自動車部品市場の概要	29
2.2. アルゼンチン自動車部品産業の課題	36
2.2.1. インタビュー	36
2.2.2. 自動車部品産業の SWOT 分析	47
付表 I. アルゼンチンの主な非日系自動車部品メーカー	48

データインデックス

図 1. 販売と輸入	9
図 2. 生産と輸出	10
図 3. 燃料タイプ別販売実績シェア	15
図 4. 輸出先国数の推移	17
図 5. アルゼンチンの自動車貿易	18
図 6. 自動車製造工場の位置	21
図 7. 自動車メーカー別生産シェア	22
図 8. アルゼンチンにおける自動車生産の見通し	28
図 9. 自動車のバリューチェーン	30
図 10. 自動車分野の技術バリューチェーン	31
図 11. 州別 AFAC 加盟企業数	32
図 12. 資本元別自動車部品企業シェア	32
図 13. 自動車部品の輸出入	33
図 14. 自動車部品の輸入と自動車生産、前年比の推移	34
図 15. アルゼンチンの自動車部品輸出とブラジルの自動車生産	36
表 1. 自動車種別の販売推移	12
表 1.1. 自動車カテゴリー別新車販売登録の推移	12
表 2. モデル別販売登録の推移	12
表 3. ブランド別販売登録数	13
表 4. モデル別 販売トップランキング、乗用車	14
表 5. モデル別 販売トップランキングー軽商用車	14
表 6. モデル別 販売トップランキングー大型車	15
表 7. 国別輸出台数	16
表 8. 工場別位置および生産モデル	21
表 9. 製造工場の投資計画	22
表 10. 国別の自動車部品輸入	34
表 11. カテゴリー別自動車部品輸入	35
表 12. 国別自動車部品輸出	35
表 13. カテゴリー別自動車部品輸出	36
付表 I. アルゼンチンの主な非日系自動車部品メーカー	49

1. アルゼンチンの自動車産業

1.1. アルゼンチン自動車市場の概要

1.1.1. 歴史的背景

アルゼンチンの自動車の歴史は 19 世紀末にヨーロッパから輸入された自動車が到着したときに始まる。その後、1904 年にはドライバーや自動車愛好家の集まる場としてアルゼンチン自動車クラブ (ACA) が結成された。

20 世紀前半の数十年間にわたるアルゼンチンの経済的繁栄によって自動車の普及拡大が推進された。輸入車の多様性や技術的品質は、アルゼンチンを米国と欧州に次ぐ主要市場として位置付けた。1913 年にフォードがブエノスアイレスに南米で初、そして米国国外では 2 番目となる子会社を設立した。1917 年に、同社は組み立て前の車両輸入を開始し、1926 年には国内で 1,000 台目の T 型フォードが出荷された。

フィアット、ゼネラル・モーターズ (GM)、クライスラー、メルセデス・ベンツ、シトロエン、プジョーなどが、その後参入した。20 世紀半ばにはアルゼンチン資本の自動車メーカーがいくつか創業したものの、現在では操業停止、または他のメーカーによって買収された。

日本企業では、1997 年にトヨタがブエノスアイレス州サラテ市に工場を建設し、ピックアップトラック「ハイラックス」の生産を開始した。2011 年には、ホンダがアルゼンチンで製造された初の「シティ」を出荷した。

このようにアルゼンチンと自動車産業は長く強固な関係を保ち、豊富な経験を活かしながら、堅調な成長の継続を目指している。

1.1.2. 現状

製造工場数 (メーカー)	11
自動車 部品会社数	約 400
輸出台数 (2017 年)	209,587 台

直接雇用	70,394 人
生産台数 (2017 年)	472,158 台
輸入台数 (2017 年)	654,526 台

出典：アルゼンチン工業生産省および ADEFA、ACARA データに基づきエコラティーナ社

現在、国内には 11 の自動車製造工場 (メーカー) と約 400 の自動車部品メーカーがあり、工業生産省によると、7 万人を直接雇用している。エコラティーナ社調べによる予想では、2017 年の生産台数は 45 万 8,053 台としていたが、47 万台を超えた。この生産水準は世界 24 位で、総生産台数の 0.5% に当たる。

自動車分野には、完成車やその交換部品の販売およびアフターサービス提供のネットワークを形成する自動車販売代理店も含まれる。2016 年に自動車販売代理店 (オフィシャル認定) は 897 社あり、直接雇用されている従業員は約 4 万 5,000 人だった。

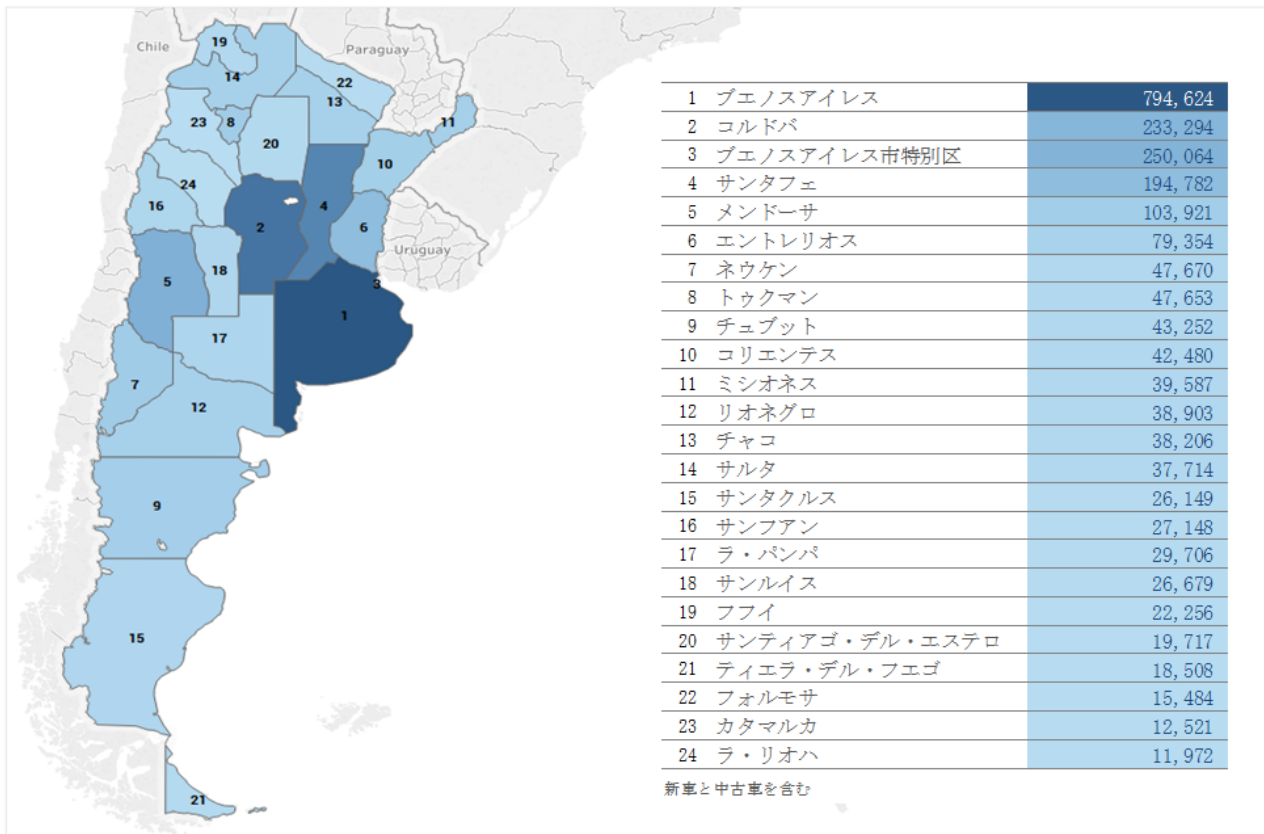
アルゼンチン 一般データ

首都	ブエノスアイレス市
人口	43,590,368
面積	2,791,810 Km ²
人口密度	15.6 Hab/Km ²
通貨	アルゼンチン・ペソ

自動車産業

新車販売登録台数 (2017年)	900,942
中古車販売台数 (2016年)	1,492,786
自動車総台数 (2016年)	14,211,089
1台あたりの住民数 (2016年)	3
自動車販売代理店数 (2016年)	897
自動車生産台数 (2017年)	472,158
自動車輸出台数 (2017年)	209,587
自動車輸入台数 (2017年)	654,526
二輪車販売登録台数 (2017年)	687,966

2016年州別販売総数



出典：アルゼンチン自動車販売店協会 (ACARA)

アルゼンチン自動車産業が現在に至るまでには、近年において4つの時期を経てきた。

- **1994年から1998年**：メルコスール（南米南部共通市場）の創設に伴い、アルゼンチンはブラジルのサプライヤー（かつバイヤー）へと位置付けられていった。これはアルゼンチン自動車産業の輸出特性を形成し、ブラジル市場への依存度を高めることとなった。
- **2000年から2002年**：アルゼンチンはこの時期にGDPが15%以上下落するなど未曾有の経済危機に陥り、自動車生産は過去数十年間で最低を記録した（15万401台、1999年のほぼ半数）。

- **2003年から2011年**：国内外の需要に後押しされ、アルゼンチン自動車産業は年平均約20%の高い成長を持続的に記録した。2007年には生産が54万4,647台となり、それまでの過去最高だった1998年の45万7,956台を超えた。さらに2011年には82万8,771台までに至った。
- **2012年から2016年**：輸出の減少により、アルゼンチン自動車産業は低迷した。2016年には輸出が2011年の半分近くまで落ち込み、生産に占める輸出の割合がこの期間に61%から40%に縮小した。

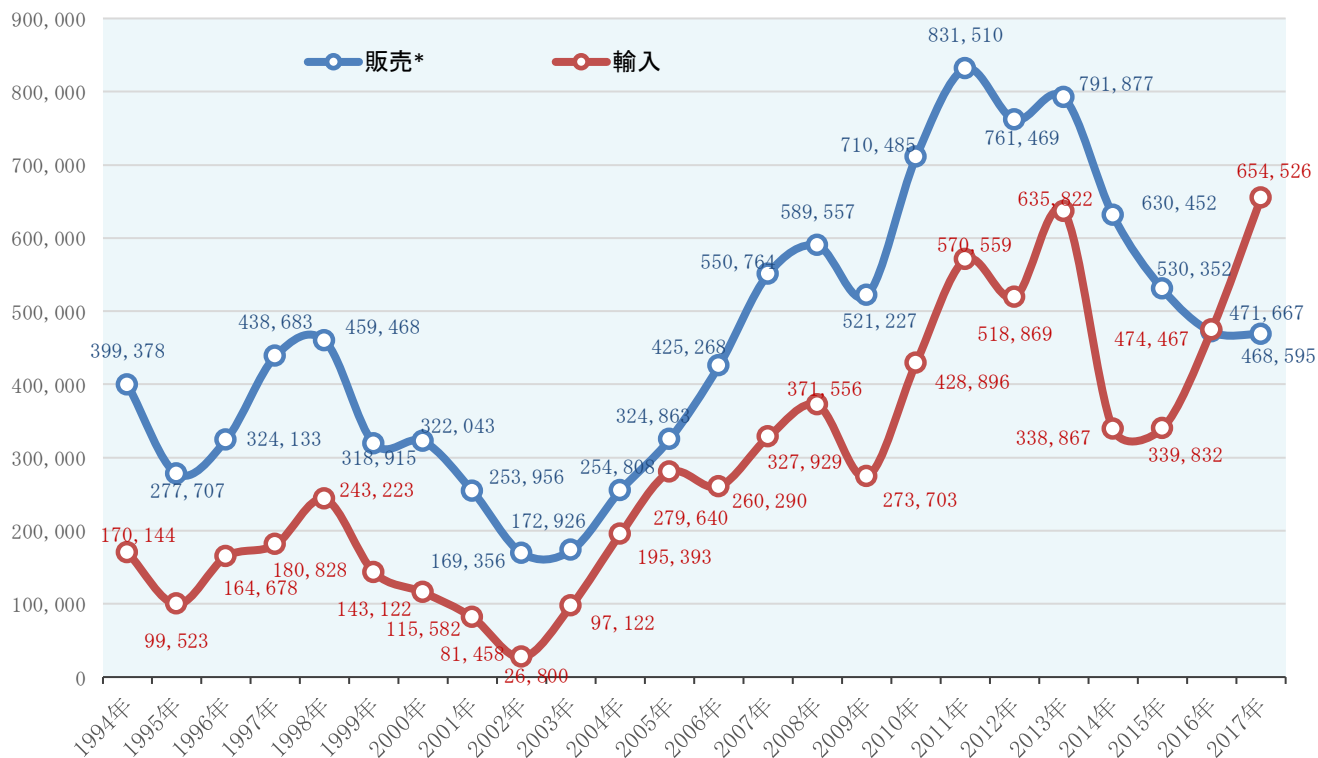
2014年から2016年にかけて3年連続で生産が減少し、2017年も上半期は低調だったものの、下半期盛り返し、年間では前年比0.1%減の47万2,158台で横ばいとなった。

しかし、業界全体の実績は均一ではない。軽商用車（ピックアップトラックやユーティリティー車）の2017年の生産は前年比で16%増加したものの、乗用車生産は15.6%減少した。これは、2013年以降の傾向である、アルゼンチン自動車業界がますますピックアップトラックやユーティリティー車に特化していることを意味する。

2017年において、総生産台数における乗用車のシェアはわずかに43%となっている。言い換えれば、アルゼンチンは現在、乗用車よりも軽商用車を多く生産している。ブラジルの乗用車需要が低下していること、アルゼンチンのピックアップトラックでの競争力が高まっていること、さらに（国内の農業生産に連動するため）ピックアップトラックの需要が上昇していることが、アルゼンチン自動車産業の構成を変化させている。

輸出もアルゼンチンの自動車生産の回復基調に貢献している。2017年の輸出は、前年比10.3%増に達した。しかし、歴史的に自動車輸出先として高いシェアをしめるブラジルへの輸出は、前年より減少しており、シェアも縮小している。

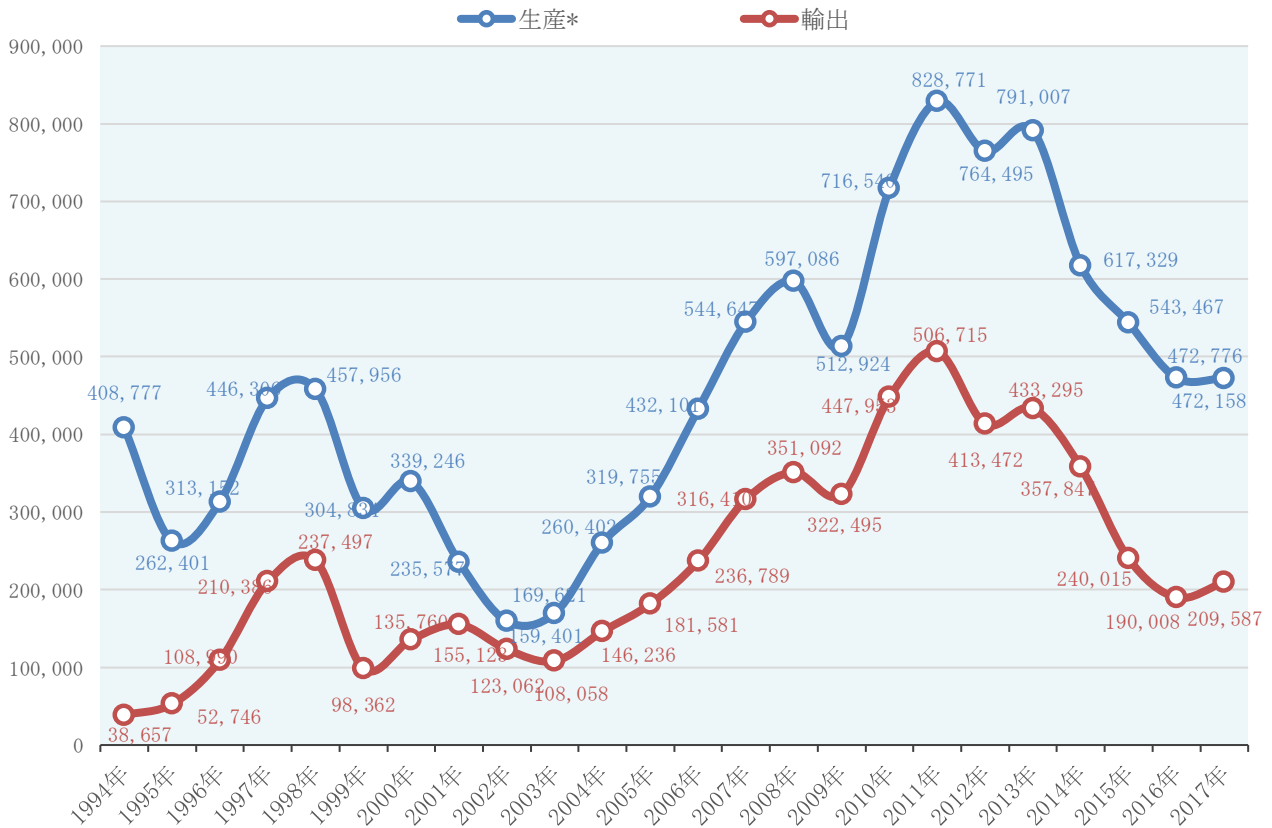
図1. 販売と輸入（単位：台数）



出典：ADEFA、ACARAデータに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

*国産車の代理店向け販売（輸出を含む）

図 2. 生産と輸出 (単位：台数)



出典： ADEFAデータに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

*2016年以降トラックなど大型車データを含まない

ボックス 1: 2017 年の「自動車協定」

2017年3月15日、アルゼンチン政府は「自動車協定」を結んだ。この協定はアルゼンチン政府、サンタフェ、コルドバ、ブエノスアイレスの各州、ブエノスアイレス特別区、自動車産業分野の労働組合（冶金労働組合〔UOM〕、自動車機械労働組合〔SMATA〕、金属監督職連盟〔ASIMRA〕、および民間企業が調印している。

目標

- 1) 年間生産台数を2023年までに100万台まで増加させる。
- 2) 新たに3万人を雇用する（2017年の推定直接雇用7万人から）。

また、この協定には数値目標も含まれている。

- 自動車分野で2017年から2019年の間に50億ドルの投資を達成する
- 生産台数の最低35%をメルコスール域外へ輸出する
- アルゼンチン自動車部品の現地調達率を2019年には35%、2023年には40%に引き上げる
- 欠勤率を2019年には5%、2023年には3%まで引き下げる

さらに詳しい情報は、セクション 1.5.1 を参照。

1.2. 販売

2013年には、国内市場での国産車及び輸入車の販売台数が96万3,000台を超え、過去最高を記録した。アルゼンチンの一般家庭では自動車の購入が有効なインフレ対策になると考えられたためである。

インフレは、選挙の年（奇数年）につきものとなっている進まないペソ安と相まって、アルゼンチン人が財産を保全する安全な手段と考える財の購入（例えば、米ドルや自動車）を促す。その結果、2013年の記録的な販売台数では輸入車が際立った。輸入車販売台数は前年比で26%増加したが、国産車販売台数は前年比3%の増加に留まった。

高級車の大半が輸入車であることを考慮して、フェルナンデス政権（当時）は高級車を含めた高級品の内国税率を変更した。高級車の購入を思い止まらせ、外貨の流出を防ぐことを目的にした。変更後、内国税には2つの課税帯を設け、税抜き販売価格が17万アルゼンチン・ペソを超える乗用車は（変更前の税率10%に対して）30%、21万ペソを超えると50%の内国税が設定された。

2014年、国内市場での販売は前年比マイナス36.3%にまで激減した。これは高級車への増税もさることながら、同年1月に行われたペソ切り下げによる対米ドルでの購買力下落が要因である。また、政府が輸入品に対して適用していた公式および非公式の規制が一層厳しくなったことで、自動車部品や交換部品の品不足が深刻になり、生産への影響、販売の減少へとつながった。

2015年、自動車販売代理店への販売は、前年比マイナス0.1%と、前年とほぼ同じレベルに留まった。同年12月、中道右派のマクリ政権への交代に伴い、外国為替相場の規制が廃止され、輸入を妨げていた諸規制も取り除かれるとともに、高級車への税率は30万ペソを超える自動車に対し10%、80万ペソを超えた場合20%へと引き下げられた。

2016年、新たなマクロ経済環境のもと、自動車販売代理店への販売は前年比19%増加し、自動車の販売登録は10.2%増加した。インフレ加速による購買力の低下が特徴づけられた国内情勢ではあったが、自動車メーカーは盛んな販売プロモーションや値引きを行うとともに、公的および民間銀行は、優遇金利で融資を与えることで販売を促進させた。

さらに、マクリ政権による一次産品の輸出税の廃止や一部削減といった農業政策は、自動車市場にも影響を与えた。農業生産者の利潤が高まり、ピックアップトラックやユーティリティー車などの資本財に対する需要が高まることに繋がった。2016年に見られた自動車販売登録の増加は、主に2015年に比べ14.6%の上昇を記録した軽商用車（ユーティリティー車）に起因している。また、乗用車は前年に比べて6.4%の増加を見た一方で、トラックなど大型車は前年比で12%低下した。

2017年の国内の自動車需要は引き続き堅調に伸び、新車登録台数は前年比26.9%増の90万942台を記録した。この水準は過去最高だった2013年に次ぐものである。購買力が回復し、メーカーによって様々な資金調達オプションが提供されたことが、自動車販売が好調な要因である。

現在、自動車販売を推進しているのは輸入車である。2017年の為替レートの安定は、ドル化商品（輸入車など）の購入を後押ししたためだ。

また、大型車の販売登録は前年比41.9%増、軽商用車は前年比26.9%増で、顕著な拡大が見られ、政府が刺激して維持しようとする投資の増加と歩調を合わせている。

表 1. 自動車種別の代理店向け販売推移（台数）

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	17年/16年
乗用車	673,853	596,397	684,379	432,696	431,097	518,637	642,624	23.9%
軽商用車	171,727	200,433	239,749	156,276	155,679	202,774	241,178	18.9%
大型車	37,770	33,228	39,789	24,876	26,491	-	-	-
合計	883,350	830,058	963,917	613,848	613,267	721,411	883,802	22.5%

出典：ADEFA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

注：2016年以降、大型車データは未発表

表 1.1. 自動車カテゴリー別新車販売登録の推移（台数）

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	17年/16年
乗用車	663,704	672,433	764,567	527,047	496,094	526,170	663,532	26.1%
軽商用車	155,600	133,989	154,039	127,503	131,832	156,873	199,140	26.9%
大型車	38,630	34,751	38,269	29,755	30,624	26,970	38,270	41.9%
合計	858,025	841,173	956,875	687,155	644,020	710,013	900,942	26.9%

*合計は ACARA によるデータ更新によって異なる場合がある

出典：ACARA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

表 2. モデル別販売登録の推移（台数）（大型車を含む）

モデル名	2014年	2015年	2016年	2017年	2017/2016年
VW ゴル	34,529	30,750	26,910	44,845	66.6%
ルノー スエボ・サンデロ	-	9,935	17,142	37,535	119.0%
シボレー オニックス	7,512	11,134	18,020	35,559	97.3%
トヨタ ハイラックス	27,698	27,593	31,979	34,036	6.4%
トヨタ エティオス	20,169	20,889	23,903	32,573	36.3%
シボレー プリスマ	6,741	8,883	13,787	28,267	105.0%
フォード カー	s/d	s/d	12,430	28,145	126.4%
フィアット パリオ	26,595	26,757	29,114	27,200	-6.6%
プジョー 208	20,774	16,455	18,962	26,112	37.7%
VW アマロック	16,646	19,188	18,199	22,433	23.3%
フォード フィエスタ・キネティック	25,234	25,172	19,446	21,337	9.7%
フォード フォーカス II	20,077	21,339	21,616	20,715	-4.2%
フォード レンジャー	16,656	18,253	18,306	20,194	10.3%
VW スラン	20,745	18,257	15,421	19,868	28.8%
ルノー カンゲー	3,760	15,883	14,890	17,612	18.3%
フォード エコスポーツ	25,462	24,010	19,196	17,565	-8.5%
トヨタ カローラ	14,785	15,829	15,832	17,253	9.0%
フィアット モビ	-	-	3,251	16,910	420.1%
シボレー クルーズ	3,595	2,833	5,959	16,604	178.6%
フィアット トロ	-	-	4,753	16,022	237.1%
ルノー ダスター・オロチ	-	-	9,742	15,869	62.9%
VW UP	5,015	12,716	12,069	14,962	24.0%
ルノー ダスター	12,602	11,185	11,733	14,857	26.6%
シボレー S10	4,925	5,308	8,107	13,989	72.6%
ルノー スエボ・ローガン	7,952	5,576	9,261	13,153	42.0%
シボレー トラック	4,780	6,318	9,903	12,681	28.1%
プジョー 2008	-	-	6,837	11,654	70.5%
フィアット シエナ	14,652	16,299	13,891	11,185	-19.5%
プジョー 308	14,902	11,038	10,306	9,764	-5.3%
ホンダ HR-V	-	2,129	8,653	9,626	11.2%

プジョー パートナー	7,647	5,879	7,998	8,775	9.7%
VW サベイロ	6,869	7,581	7,355	8,632	17.4%
VW ヴォヤージュ	5,060	3,991	6,937	8,366	20.6%
フィアット ヌエボ・フロリノ	2,389	5,217	7,186	8,256	14.9%
ルノー キャプチャー	-	-	344	8,175	2276.5%
シボレー スピン	5,704	7,520	9,037	8,092	-10.5%
その他	305,757	230,849	242,961	222,121	-8.6%
合計	687,155	644,020	710,013	900,942	26.9%

出典：ACARA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

2003年からアルゼンチンで最も売れたモデルは、手頃な価格帯に属するフォルクスワーゲンの「ゴル」だ。しかし、2016年にのみ軽商用車であるトヨタ「ハイラックス」がトップを奪った。

これは、2016年にアルゼンチンの農業分野が堅調な業績を上げたことが要因である。収穫の収益性や流動性レベルが向上したことで、資本財の買い換えや買い増しが可能になり、そうした資本財の中にピックアップトラックがあった。

2017年の販売登録台数では、低価格乗用車のフォルクスワーゲン「ゴル」、ルノー「ニューサンデロ」、シボレー「オニックス」などが、大幅な値引きによって国内市場に提供され、販売が好調だった。

表 3. ブランド別販売登録数（台数）（大型車含む）

ブランド名	2014年	2015年	2016年	2017年	2017/2016年
フォルクスワーゲン	114,546	117,817	108,419	144,533	33.3%
シボレー	83,242	86,246	99,694	122,916	23.3%
ルノー	85,078	77,650	99,202	115,028	16.0%
フォード	95,517	93,609	95,594	114,499	19.8%
フィアット	84,997	70,169	73,958	94,356	27.6%
トヨタ	64,745	65,354	75,972	90,976	19.7%
プジョー	70,276	50,832	62,220	72,391	16.3%
シトロエン	28,267	21,673	24,900	32,033	28.6%
ホンダ	8,967	5,590	10,050	18,083	79.9%
メルセデスベンツ	12,595	12,873	12,422	18,045	45.3%
ニッサン	5,940	7,440	9,022	16,376	81.5%
ジープ	714	320	3,095	8,772	183.4%
イベコ	6,340	6,822	5,257	7,195	36.9%
チェリー	3,799	4,872	3,779	6,250	65.4%
BMW	594	436	2,266	3,735	64.8%
ヒュンダイ	1,898	1,882	1,764	3,443	95.2%
アウディ	1,170	320	2,440	3,435	40.8%
キア	1,409	2,046	2,143	2,937	37.1%
スカニア	2,021	1,792	1,586	2,325	46.6%
ボルボ	976	563	1,113	2,172	95.1%
リーフェン	-	3	405	1,841	354.6%
ラム	176	1,411	1,021	1,002	-1.9%
DS	-	-	234	974	316.2%
その他	13,888	14,300	13,895	17,625	26.8%
合計	687,155	644,020	710,015	900,942	26.9%

出典：ADEFSA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

表 4. モデル別 販売トップランキング. 乗用車 (台数)

モデル名	2016 年		2017 年	
	台数	順位	台数	順位
VW ゴル	26,910	2	44,845	1
ルノー スエボ・サンデロ	17,142	9	37,535	2
シボレー オニックス	18,020	8	35,559	3
トヨタ エディオス	23,903	3	32,573	4
シボレー プリスマ	13,787	13	28,267	5
フォード カー	12,430	14	28,145	6
フィアット パリオ	29,114	1	27,200	7
プジョー 208	18,962	7	26,112	8
フォード フィエスタ・キネティック	19,446	5	21,337	9
フォード フォーカス II	21,616	4	20,715	10
VW スラン	15,421	11	19,868	11
フォード エコスポート	19,196	6	17,565	12
トヨタ カローラ	15,832	10	17,253	13
フィアット モビ	3,251	30	16,910	14
シボレー クルーズ	5,959	26	16,604	15
VW UP	12,069	15	14,962	16
ルノー ダスター	11,733	16	14,857	17
ルノー スエボ・ローガン	9,261	19	13,153	18
シボレー トラッカー	9,903	18	12,681	19
プジョー 2008	6,837	24	11,654	20
フィアット シエナ	13,891	12	11,185	21
プジョー 308	10,306	17	9,764	22
ホンダ HR-V	8,653	21	9,626	23
VW ボヤージュ	6,937	23	8,366	24
ルノー キャプチャー	344	31	8,175	25
シボレー スピン	9,037	20	8,092	26
シトロエン C3	6,237	25	7,524	27
シトロエン C4 ラウンジ	6,968	22	6,343	28
その他	153,005	-	136,662	-
合計	526,170	-	663,532	-

表 5. モデル別 販売トップランキング-軽商用車 (台数)

モデル名	2016 年		2017 年	
	台数	順位	台数	順位
トヨタ ハイラックス	31,979	1	34,036	1
VW アマロック	18,199	3	22,433	2
フォード レンジャー	18,306	2	20,194	3
ルノー カングー	14,890	4	17,612	4
フィアット トロ	4,753	12	16,022	6
ルノー ダスター・オロチ	9,742	5	15,869	5
シボレー S10	8,107	6	13,989	7
プジョー パートナー	7,998	7	8,775	9
VW サベイロ	7,355	8	8,632	8
フィアット スエボ・フロリノ	7,186	9	8,256	10
フィアット ストラダ	5,950	10	7,495	11
シトロエン ベルランゴ	5,079	11	5,673	12
メルセデスベンツ スプリンター	3,601	13	4,247	13
イベコ デイリー	1,971	14	2,647	14
メルセデスベンツ ビトー	1,267	15	1,412	15
その他	10,490	-	11,848	-
合計	156,873	-	199,140	-

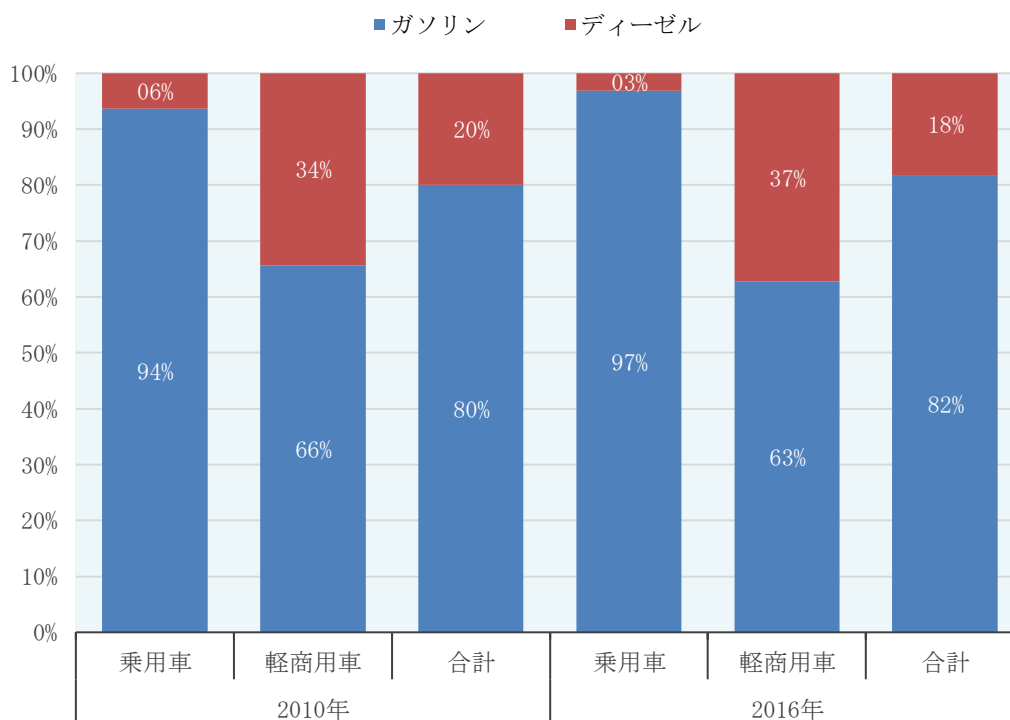
出典: ACARA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

表 6. モデル別 販売トップランキンガー大型車 (台数)

モデル名	2016年		2017年	
	台数	順位	台数	順位
イベコ 170 E	1,867	1	2,120	1
VW 17.280	535	4	1,826	2
メルセデスベンツ アクセロ 815	643	2	1,143	3
メルセデスベンツ アテゴ 1726	414	8	1,125	4
フォード カーゴ 1723	583	3	1,051	5
メルセデスベンツ 0-500	424	6	731	7
フォード F 4000	489	5	696	8
イベコ 450 C	44	-	526	9
メルセデスベンツ アクセロ 1016	225	7	509	10
メルセデスベンツ アテゴ 1720 48	48	9	447	11
VW 17.230	10	-	276	12
その他	11,891	-	15,718	-
合計	17,173	-	26,168	-

出典：ACARA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

図 3 燃料タイプ別販売実績シェア (単位：%)



出典：ADEFAデータに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

アルゼンチンでは、ガソリンを燃料として使う自動車に販売が集中している。2010年から2016年の間にガソリンを使う軽商用車のシェアはわずかに減少しているものの、ディーゼル燃料とガソリン燃料の価格差が狭くなり、結果としてディーゼルエンジンを購入しようとする意欲も衰えた。

※ 圧縮天然ガス (CNG) に適したエンジンを備えた新車台数は、最低レベルまで減少している。また、このシステムを装備した自動車は実際には二元燃料機関であるため、他のタイプの燃料、通常はガソリンでも動作する。このため、このタイプのエンジンを備えた数少ない新車は、ガソリン・セグメントに含まれている。

1.3. 輸出入

アルゼンチンの自動車輸出は、2011年に過去最高記録（50万6,715台）を達成し、その後は現在の水準まで徐々に衰退した。

2011年の最高記録は、ブラジルをはじめ、他の周辺地域諸国や欧州からの需要が大幅に増加したことで説明される。しかしながら、その後アルゼンチンの国際競争力（実質為替レートによる測定）¹が2015年末まで継続的に悪化した結果、海外からのアルゼンチン車への需要は減少した。実際に、自動車分野の実質為替レートは、2011年から2015年にかけて50%低下し、輸出もそれに応じた減少（マイナス52.6%）を見せ、4年間で半分にまで落ち込んだ。

表7. 国別輸出台数

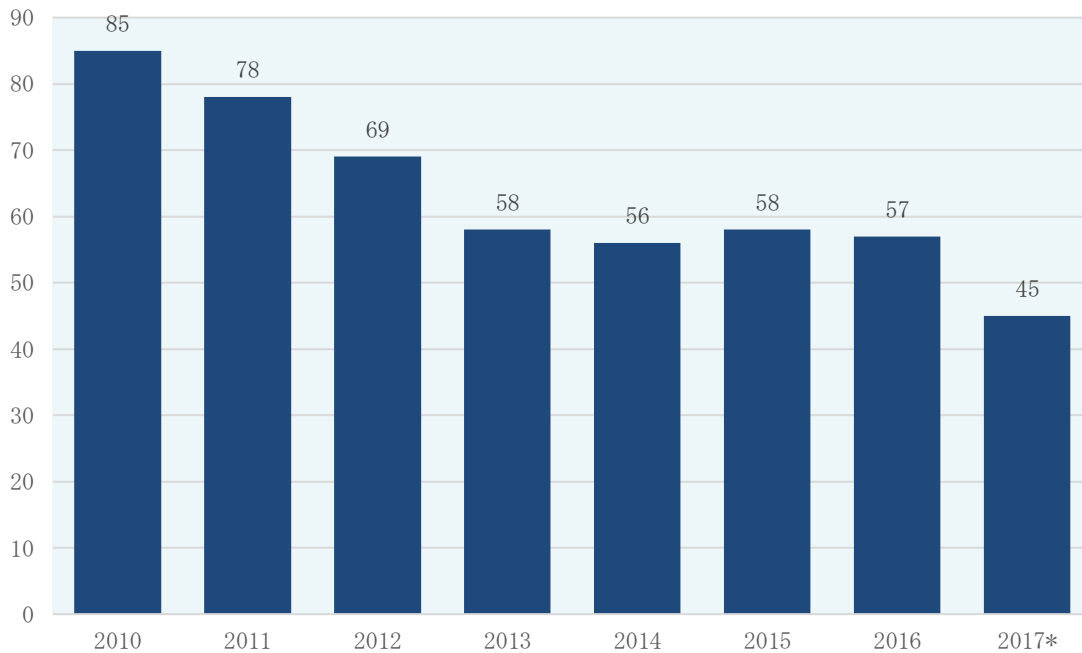
輸出先国	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	17年 構成比	17年/ 16年
ブラジル	410,677	340,165	371,961	303,786	187,545	137,649	135,900	64.8%	-1.3%
中米	2,196	2,957	1,545	1,297	1,306	2,433	17,868	8.5%	634.4%
ペルー	1,530	4,903	1,723	741	762	4,159	9,633	4.6%	131.6%
チリ	5,120	5,778	6,846	4,528	5,004	6,680	9,631	4.6%	44.2%
メキシコ	13,318	4,798	11,714	13,070	12,342	15,189	8,643	4.1%	-43.1%
オーストラリアと ニュージーランド	2	5	11	7,455	10,067	5,363	7,646	3.6%	42.6%
コロンビア	5,577	10,834	9,488	9,329	4,480	4,420	6,619	3.2%	49.8%
パラグアイ	0	1,460	3,973	3,657	3,513	2,734	4,056	1.9%	48.4%
アフリカ	1,303	149	1	4,301	5,482	3,530	3,171	1.5%	-10.2%
ウルグアイ	13,649	7,331	6,818	4,274	3,012	2,912	2,905	1.4%	-0.2%
エクアドル	746	1,115	390	441	80	792	2,332	1.1%	194.4%
その他米州諸国	2,309	195	149	221	346	92	1,116	0.5%	1113.0%
欧州	42,606	24,134	18,551	2,966	6,639	2,275	34	0.0%	-98.5%
アジア	638	355	0	0	2,407	1,780	33	0.0%	-98.1%
ベネズエラ	7,044	7,531	125	42	153	0	0	0.0%	-
合計	506,715	413,472	433,295	357,847	240,015	190,008	209,587	100.0%	10.3%

*合計は ADEFA によるデータ更新によって異なる場合がある

出典：ADEFA データに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

¹ 実質為替レート：ある国の国際競争力を決定する。名目為替レートに国内の物価と国際的な物価の比率を掛け合わせたものである。

図 4. 輸出先国数の推移



出典：フォーリントレードに基づきエコラティーナ社作

* 2017年8月までの累計

しかし、輸出の減少はアルゼンチンの事情だけを理由には説明しきれない。主要輸出先国であるブラジルが経験した厳しい不況にも原因がある。ブラジル経済は、2015年から2016年にかけての不況や2017年における景気低迷を経験した。このため、アルゼンチンがブラジル向けに輸出していたシェアは一時全体の8割近くあったものから2017年には65%まで低下した。

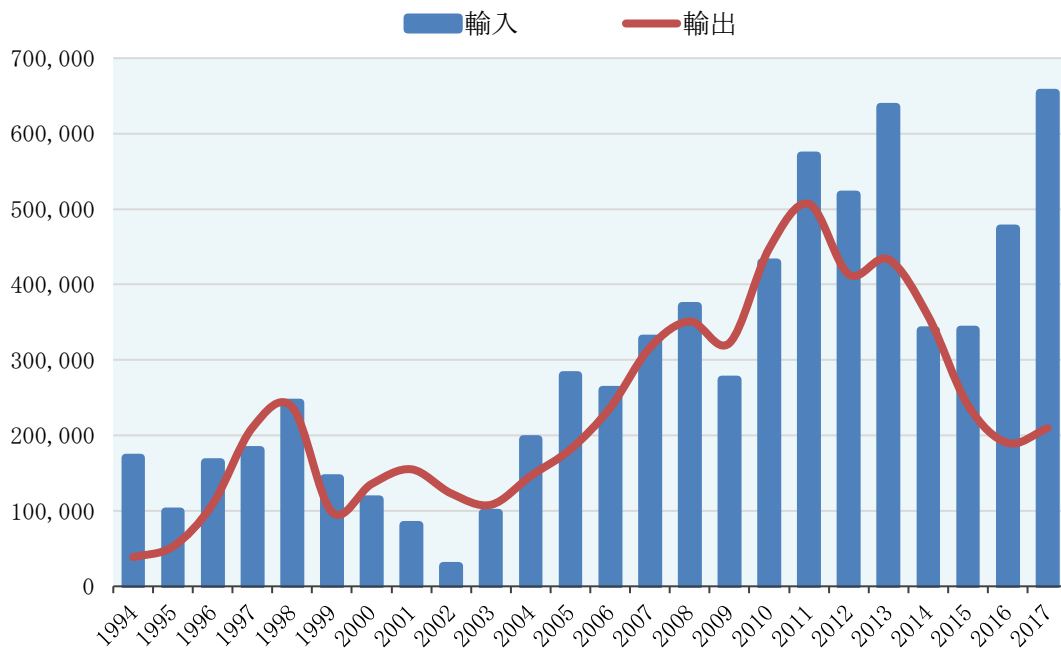
アルゼンチンは2017年、ブラジル向けに13万5,900台の自動車を輸出したが、2011年には41万677台を輸出していた。現状では最高記録を出した2011年の33%程度しか輸出していない。

アルゼンチンの自動車輸出は限られた市場に集中している。2017年にはメルコスール加盟国（ブラジル、ウルグアイ、パラグアイ、ベネズエラ<現在停止中>およびボリビア<加盟手続き中>）への輸出が全体の68%を占めた。ここにメキシコ、チリ、コロンビア、その他の中南米諸国を追加すると、その割合は91%に上る。その結果、変動性が高い開発途上国への依存度の高さが、アルゼンチン自動車産業の脆弱性の一面となる要因になっている。

輸入については、2016年に政府が輸入規制を廃止し、高級車や中級車の内国税課税を引き下げたことによって、自動車販売代理店などは需要の増加を見るようになり、輸入車の国内販売が2015年に比べ39%増加した。2016年には国産車が3%減少したため、輸入車は市場シェアの61%を占めることになった。

同じ傾向は2017年にも見られ、前年比で37.9%の伸び率を示し、輸入車のシェアは市場の71%を占めている。輸入車が入りやすくなったことに加えて、インフレ下での名目為替レートが相対的に安定していることが、輸入品の購入を後押ししている。

図 5. アルゼンチンの自動車貿易（台数）



出典：ADEFA、ACARAデータに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

ボックス 2: 輸入の総合モニタリングシステム

アルゼンチンでは、世界貿易機関（WTO）ルールに沿った自動・非自動輸入ライセンスシステムが適用されている。輸入ライセンスは、商品の輸入の前提条件として、申請書またはその他の書類（関税目的に必要なものと異なる）を関係行政機関に提出することを要求する行政手続きとされる。

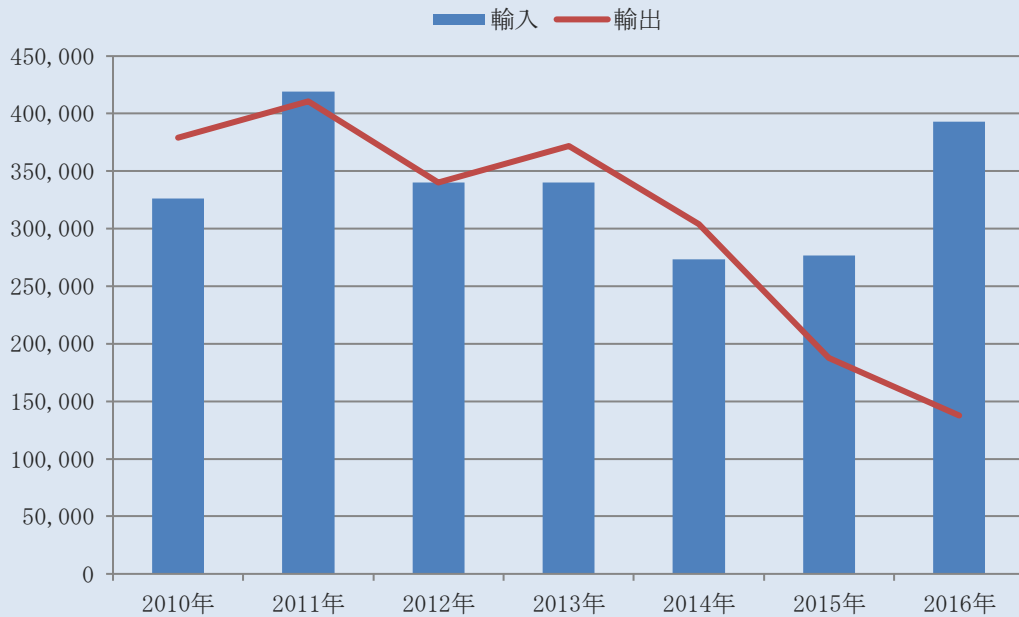
この枠組みの中で、輸入の総合モニタリングシステム（Sistema Integral de Monitoreo de Importaciones, SIMI）は、アルゼンチン公共歳入連邦管理庁（AFIP）によって開発された手段である。輸入を行うための注文書、発注書またはそれに類似した書類を発行する前に、輸入業者は輸入消費財の最終目的に関する情報を提供し、更に自動・非自動輸入ライセンスが取得されているか確認をする SIMI に登録しなければならない。

ボックス 3: アルゼンチン・ブラジルの二国間貿易

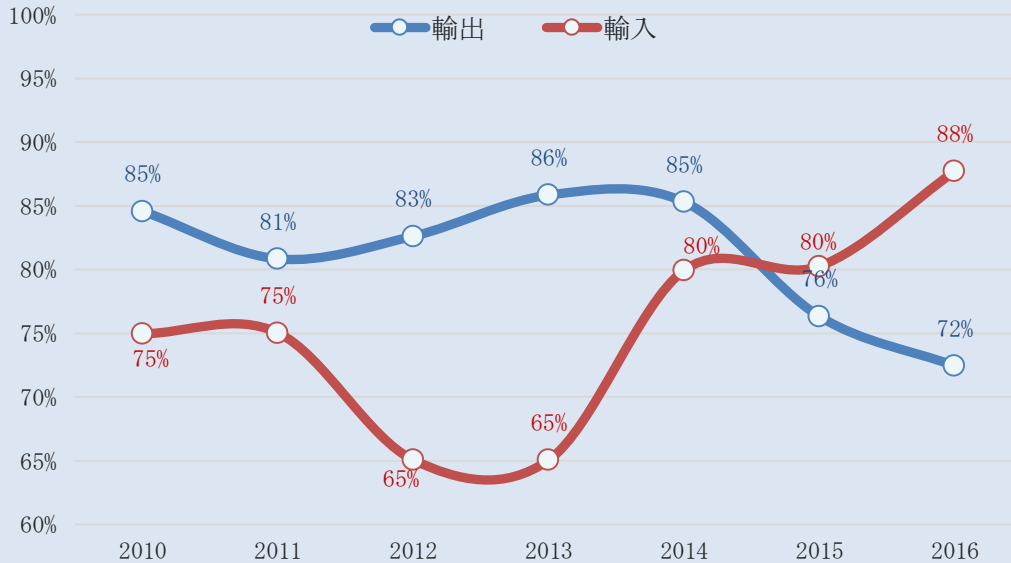
アルゼンチン自動車産業にとってブラジルは主要貿易相手国である。2017年、アルゼンチンはブラジルに13万5,900台を輸出し、55万3,622台を輸入した。これは、自動車分野輸出の64.8%と輸入の85%に当たる。

2017年、アルゼンチンが47万2,158台を製造したことを考慮すると、国内で生産された自動車の10台のうち3台はブラジル市場向けだった。ブラジルは269万9,672台を生産しており、アルゼンチン市場向けに約21%輸出したことになる。

自動車の二国間貿易
- 台数による計測 -



アルゼンチン自動車貿易におけるブラジルのシェア
- 台数で計測



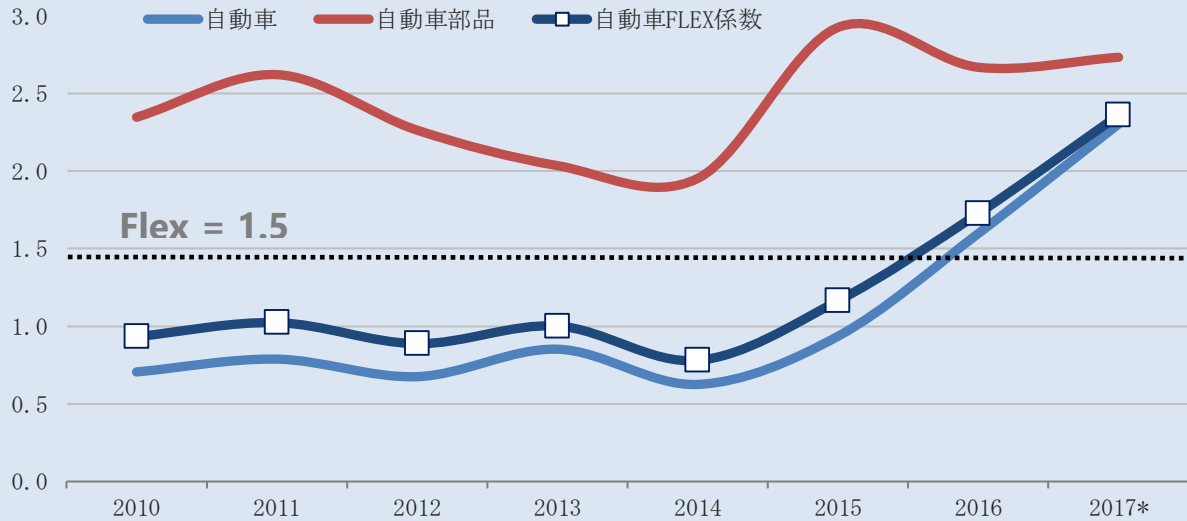
出典：ADEFSAおよびアリス・ウェブシステムに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社

アルゼンチンとブラジルとの二国間における自動車貿易は、1994年のメルコスール発足以降大きく成長してきている。しかし、アルゼンチン側は常に貿易赤字にある。アルゼンチンにとって不利な貿易収支は、主に自動車部品の入超が原因だとされるが、2015年から2017年にかけて、完成車両の赤字が急増し、経済補完協定（ACE）第14号で規定されている均衡係数1.5を超えた。

ブラジルの経済低迷は、ブラジルからの需要減少によってアルゼンチンの自動車生産に影響を与えただけでなく、アルゼンチンで提供されているものよりも競争力のある価格でブラジルの自動車の流入を招く

こととなった。この状況はアルゼンチン自動車産業の業績を悪化させ、アルゼンチンのブラジルに対する貿易赤字を増加させた。

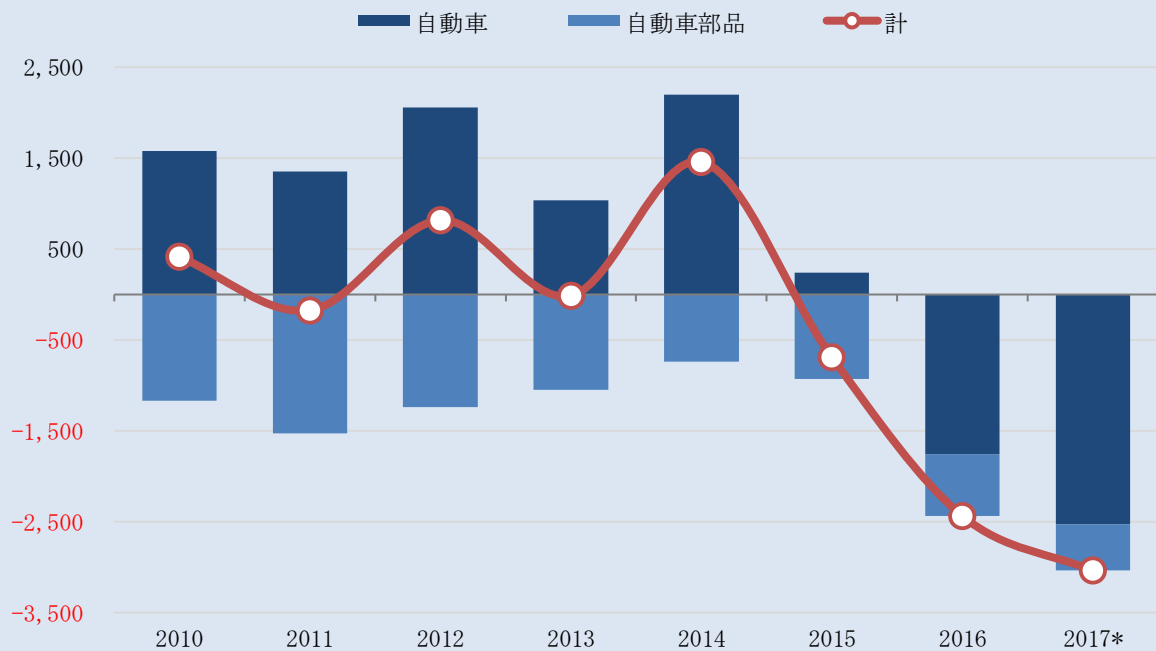
アルゼンチン-ブラジル：輸出に対する輸入の割合
- ドルによる計測 -



出典：ADEFAおよびフォーリントレードに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社

*8月までの累計

二国間の貿易均衡
- 100万ドル単位 -



出典：ADEFAおよびフォーリントレードに基づきエコラティーナおよびキー・マーケット社

*8月までの累計

1.4. アルゼンチンの自動車製造工場

現在、アルゼンチンでは次の 11 社の自動車製造工場が稼働している。フィアット・クライスラー (FCA)、フォード、ゼネラル・モーターズ (GM)、ホンダ、イベコ、メルセデス・ベンツ、プジョーシトロエン (PSA)、スカニア、トヨタ、ルノー-日産、フォルクスワーゲン (VW) である。生産されているのは、乗用車、ユーティリティ車、トラックを含む 20 車種。近々、他の自動車メーカーも加わり、上記の企業と合わせて短期的には新たに 10 車種を製造する計画もある。

図 6 . 自動車製造工場の位置

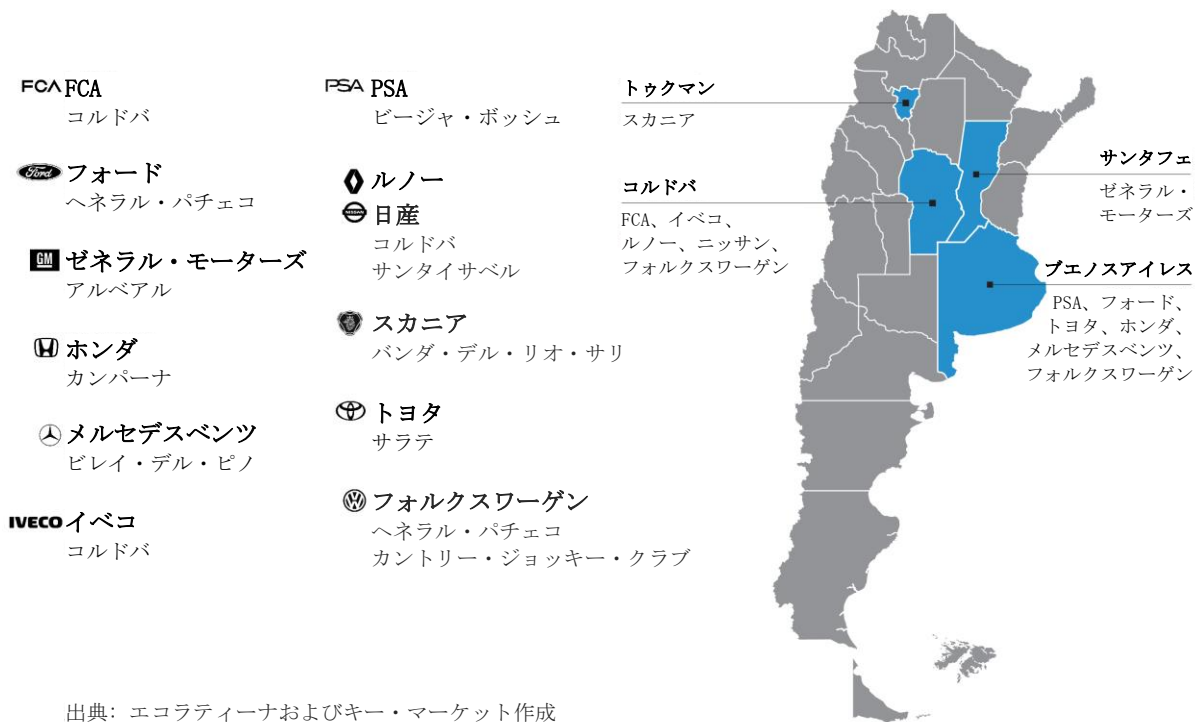


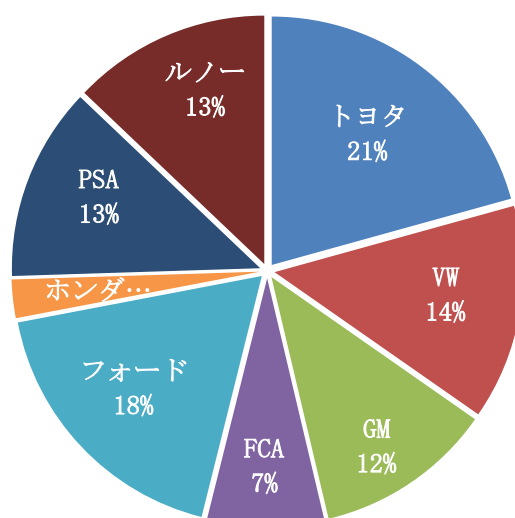
表 8. 工場別位置および生産モデル

企業名	モデル名	所在地	州
FCA - フィアット・クライスラー	パリオ、シエナ	コルドバ市	コルドバ
フォード	フォーカス、レンジャー	ヘネラル・パチェコ市	ブエノスアイレス
ゼネラル・モーターズ	クルーズ	アルベアル市	サンタフェ
ホンダ	HRV	カンパーナ市	ブエノスアイレス
イベコ	テクター、カーソル、ストラリス、ト レーカー、 ユーロカーゴ バス用シャーシー	コルドバ市	コルドバ
メルセデスベンツ	スプリンター、OH 1518/1618/1718、 OF 1418/1722/915、アトロン、ビトー	ビレイ・デル・ピノ市	ブエノスアイレス
プジョー・シトロエン	308、408、C4 ラウンジ、パートナ ー、ベルランゴ	ビヤ・ボッシュ市	ブエノスアイレス

ルノー	ローガン、サンデロ、サンデロ・ステップウェイ、カンゲー、フルエンス	コルドバ市 サンタ・イサベル	コルドバ
日産	NP300 フロンティア	コルドバ市 サンタ・イサベル	コルドバ
スカニア	トランスミッション構成品	バンダ・デル・リオ・サリ	トゥクマン
トヨタ	ハイラックス、SW4	サラテ市	ブエノスアイレス
フォルクスワーゲン	スラン、アマロック 構成品	ヘネラル・パチェコ市 ジョッキー・クラブ	ブエノスアイレス コルドバ

出典：エコラティーナおよびキー・マーケット社調べ

図 7. 自動車メーカー別生産シェア - % 2016 年



出典：ADEFAデータに基づき、エコラティーナ社作成

表 9. 製造工場の投資計画

企業名	100 万ドル単位 / 実施状況	目的	出所 / 発表日
フィアット	500 投資実行中	コルドバでセダンを生産するプロジェクト X6S 2017 年 11 月から新車種の生産開始予定	各種プレスリリース クリスティアーノ・ラタッシ社長による発表 01/10/2017
日産 - ルノー - ダ임ラー	600 投資実行中	2018 年から Pick up NP300 Frontier (現在メキシコから輸入しているモデル) をコルドバのルノー工場生産する。次の段階では Renault Alaskan および Mercedes Benz Class X の 2 モデルを生産予定。 最初のモデルは 2018 年 6 月から出荷	日産の社長兼 CEO ディエゴ・ビニャティによるプレスリリース 01/09/2017
トヨタ	100 投資実行中	サラテ (ブエノスアイレス州) 工場 新しい Innova を生産 2017 年中に展開予定	テラム通信 トヨタ・ダニエル・エレロ社長の発表 01/04/2017

GM	800 - 1,000 実行状況は確認できず	サンタ・フェ州ロサリオ市工場にてSUVの生産の可能性あり（未定）	2017年9月、メアリー・バーラ（グローバルCEO）発表 日付は確認できず
VW	100 投資実行中	ヘネラル・パチェコおよびコルドバの工場拡張	テラム通信 ハーバート・ディエス、取締役 01/07/2016
PSA	320 投資予定	未定。ハイブリッドまたはEVの生産をパロマル工場で生産の可能性あり。 2019年開始予定	各種報道 グループのラテンアメリカ社長カルロス・ゴメスによる発表 01/12/2016
ドンフェン	300（初期投資として） 実施時期は未定	ホセCパス（ブエノスアイレス州）における電気自動車やバスの製造が計画されている	各種報道 ホセCパスの市長による投資の発表 01/04/2017
BYD（ビルド・ユア・ドリームズ）	80-100 実施時期は未定	電気自動車の製造が計画されている	各種報道 同社のスポークスマン、アイザック・アッティスによる発表 01/05/2017

出典：エコラティーナおよびキー・マーケット社調べ

1.5. 主な自動車政策

2015年12月に発足以降、マクリ大統領はアルゼンチン自動車産業の競争力改善を目標に、以下の取り組みが実施されている。

- 国際競争力強化を目的とした工業製品にまつわる輸出関連手続きの撤廃。
- 輸入規制として機能していたDJAI（輸入取引の事前宣誓申告制度）の廃止。
- 高級車と中級車の内国税率引き下げ。2017年12月末の発表では、2018年1月1日以降、販売価格が90万ペソ以上の自動車のみに対して20%が課税される。
- 「100万台自動車計画」を含む「2017年自動車協定」の開始（セクション1.5.1参照）。
- 「アルゼンチン自動車部品産業活性化法」の創設（セクション1.5.2参照）。
- ブラジルとの「共通自動車政策（PAC）」の更新。
- 「自動車部品輸出払い戻し」の増額（セクション1.5.3参照）。
- ハイブリッド車や電気自動車などの最新のエンジン技術を搭載した自動車輸入に対する関税引き下げ（セクション1.5.4参照）。
- 工業生産省、関係商工会議所、労働組合との円卓会議を開始して、労働生産性、物流インフラ、州との関係、税制の歪み、資金調達、技術革新のための資源の創出などに関連した取り組みについて前進を図る。

1.5.1. 2017年自動車協定

2017年3月15日、アルゼンチン政府は「自動車協定」を発足させた。この協定はアルゼンチン政府、サンタフェ、コルドバ、ブエノスアイレスの各州、ブエノスアイレス特別区、自動車産業分野の労働組合、および民間セクターに属する企業が調印している。

目標

- 1) 2023年までに、年間生産台数を100万台に増加（2017年の推定45万8,053台から）
- 2) 3万人の新規雇用創出（2017年の推定7万人直接雇用から）

この協定には以下の数値目標も含まれている。

- 自動車分野でにおいて、2017年から2019年にかけて50億ドルの投資を達成する
- 生産台数の最低35%をメルコスール域外へ輸出する
- アルゼンチン自動車部品の現地調達率を2019年には35%、2023年には40%に引き上げる
- 欠勤率を2019年には5%、2023年には3%まで引き下げる

コミットメント

アルゼンチン政府側のコミットメント

- 「アルゼンチン自動車部品産業活性化法」の促進（法律27263号）（セクション1.5.2参照）
- バリューチェーンの競争力向上のための関税構造見直し
- 国立工業技術庁（INTI）の強化
- 安全自動車部品認定証明書（CHAS）の実施を優先
- 「モデル構成ライセンス」取得および更新のため、新規の手続き等を実行する。
- 「共通自動車政策 PAC」の枠組みの一環でブラジルと協定を継続する
- 競争力のある価格と品質で、広く使用されている部材へのアクセス改善を促進
- 投資貿易銀行（BICE）を通じた融資の提供
- 新規市場開拓のための国際交渉の実施促進
- フレックス燃料車、ハイブリッド車、電気自動車開発への投資促進
- ハイブリッド車と電気自動車の取引のための新関税枠組みの確立（セクション1.5.4参照）
- 自動車の販売段階における行動を分析して、販売登録コストの削減と、一般向けの価格形成プロセスを最適化する
- 国際協力機構（JICA）を通じて、品質と生産性の向上を目的とした育成制度への奨励
- 政府が定めた財政効率化と競争力向上の目標を達成するべく、輸出払い戻しの仕組みを通じて、国内自動車産業の販売と輸出などバリューチェーン全体の税負担を見直す

民間部門側のコミットメント

- 均衡係数（FLEX）を達成する（アルゼンチンの自動車メーカーからの輸出1米ドルに対してブラジルの自動車を1.5米ドル分輸入）
- サプライヤー・ネットワークの改善と開発
- 新規プロジェクトへの投資
- 同等な経済圏と同様の水準での価格維持

民間部門および労働組合側のコミットメント

- 研究開発能力の強化
- 職業訓練と人材育成の促進
- 生産性の向上と欠勤率の低下（2019年に5%、2023年に3%）

1.5.2. アルゼンチン自動車部品産業活性化法

2016年7月、アルゼンチン議会は「アルゼンチン自動車部品産業活性化法」（法律第27263号）を可決した。同法では特典として国税支払いに利用できる電子バウチャーが付与される。国産自動車部品に対する工場出荷価格の割合と同額とされる。なお、付加価値税、財務コスト、値引き、ボーナス分は含まれない。

受益者

自動車、ユーティリティー車、軽商用車、トラック、バスおよびシャシーを製造する工場における、以下の特性を満たすプロジェクト

- メルコスール域内のみの自動車プラットフォーム。域内ではアルゼンチンのみに進出しなければならない。
- このプラットフォームは新規、又は既存のプラットフォームを大幅に再設計したものでなければならない。
- 2015年7月以降に生産を開始したものでなければならない。
- 乗用車やユーティリティー車では、部品国産化率は30%以上、軽商用車、トラック、バス、シャシーでは25%以上を含むもの。

自動車部品システム、部品の組立及び部分組立の製造業者における、以下の特性を満たすプロジェクト

- 新しい自動車部品の生産、または既存の自動車部品の生産能力の拡大。
- 部品ごとに測定して30%以上のローカルコンテンツを含み、エンジンの場合は特典授与時から10%以上または20%以上を含まなければならない。例外的に、国産化率が低くとも、国内で生産されていないシステムに投資を行った場合。

特典

ローカルコンテンツに対して

- 国産自動車部品の購入価額に対し4~15%の税控除の電子バウチャーが受けられる。
- 鍛造部品または鋳造部品には、ローカルコンテンツ割合を決定する時点で7%の特典が加算される。
- サプライヤーの開発

投資に対して

- モールドやダイスの購入に対して8%の税控除の電子バウチャーが受けられる
- モールドおよびダイスの輸入関税免除
- サプライヤーの開発
- 受益者は、サプライヤー開発を目的に、最初の5年間に15%の想定される特典を求めることができる。
- バウチャーは生産能力拡大のための工具、資本財、設備のみに適用できる。

1.5.3. 輸出に対する払い戻し（政令294/2017号）

工業製品の輸出に対する払い戻しは、輸出向けの新製品の生産と取引の各段階で支払われる税の払い戻しについて定めている。

払い戻し率は、輸出される商品のFOB価格に適用されるパーセンテージ（0~8.5%）で構成される。輸出者が直接輸入した部材によって製造された商品の場合、払い戻しは国内付加価値に対して与えられ

る。言い換えると、輸入された部材の CIF 価格を差し引いた FOB 価格に適用される。国内付加価値に適用されることにより、この払い戻しはドローバック制度と互換性がある（ボックス 4 参照）。

ボックス 4: インセンティブ、現在の輸入制度

保税工場制度（法令 688/2017 号）

保税工場制度は、原材料、部材およびその他の種類の品物をアルゼンチンに輸入し、輸出向け製品に組み込む、未加工のまま再輸出する、または消費に供することに備える。こうした商品はオペレーションが実際に完了するまで、税金を払わずに輸入できる。

この制度に含まれる製品は、原材料、部品、構成品、副原料、梱包材、保護および包装用の材料で、その後の輸出に向けた製造や加工、または消費のための輸入に直接使用される必要がある。

ドローバック制度（法令 177/1985 号）

ドローバック制度は、外国市場向けの最終製品の製造プロセスに組み込まれた部材、構成品、部品、部分品、梱包材に対して支払われる輸入関税およびサービス税の払い戻しを定めている。この制度は 2023 年 12 月 31 日まで存続する。

一時輸入制度（政令 1330/2004 号）

一時輸入制度は、工業的な改良を受け、できあがった製品を外国へ輸出する義務のある商品の一時的な輸入に対する条件を定めている。その特典は、消費のための輸入に適用される税金を支払わないことである。輸入された商品は、加工によって新しい形で消費される目的で、注文日から 360 日以内の期間に輸出される必要がある。

1.5.4. 電気自動車輸入のための政策（政令 331/2017 号）

2017 年 5 月、アルゼンチン政府は電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池（水素燃料）車の輸入関税を引き下げた。現在の税率 35%は、0 から 5%の範囲まで下がり、期間は 2020 年 5 月までの 36 か月間とした。CBU（組み立て済み）、SKD（セミノックダウン）または CKD（完全ノックダウン）として輸入される最大 6,000 台に適用される。

同税制優遇措置は、アルゼンチンに進出済みのメーカーが対象となる。したがって、輸入業者が代表となっているメーカーは対象外とされる。政府は、2017 年 5 月 12 日付けで公布された政令 332/2017 号に基づいて、中国の CTS AUTO 社を国内進出済みのメーカーとして認め、初の電気自動車輸入による関税優遇措置を受けられる工場として認可した。

6,000 台の枠は、四半期ごとにメーカーに配分されるが、割り当ての順序では次のものが優先される。

- a) 国内生産と比較した輸入の割合
- b) 前四半期に割り当てられた枠の効率的な使用
- c) 過去 12 カ月について、それぞれの工場が国内の自動車生産に占めた割合
- d) 輸入の形態。CKD、SKD、CBU の順に優先される

1.6. 今後の見通し

2014年から2016年にかけての経済低迷を経て、アルゼンチン自動車生産の見通しは明るい。その理由は、ブラジル経済の安定化とアルゼンチン市場での需要の高まりにある。民間調査会社エコラティーナの2017年10月時点の見通しによると、2017年の自動車生産は48万3,177台に達し、まだ2015年の水準を11%下回るものの、2016年に比べると2.2%の伸びを示している。

この産業の再活性化は、2018年に本格的に実現されると見込まれている。アルゼンチンのGDPは2018年も安定的に成長する見通しで、その結果、雇用水準が改善し、一般世帯が耐久財を購入する可能性が高まる。これに沿って、インフレの鈍化が予想され、そして金利の低下が財務状況を改善する。さらに、取得価額単位（UVA）²によって調整されるインフレ指数付き個人向け貸出金の拡大があり、これを公共や民間銀行が、それまでの伝統的な担保付ローンのほかに、自動車購入の新しい方法として提供している。

さらに、アルゼンチンの農業部門は好調で、これからも引き続き自動車産業に有益な影響を及ぼすと考えられる。2017年-2018年（周期）には作付け面積の増加だけでなく、アルゼンチンの主要農産物である大豆の収益性改善も予想されている。こうした要因は、軽商用車の積極的な需要の向上を保証する。

国際面では、2017年にコロンビアと締結された協定では2018年に9,000台の枠を定めている。また、メキシコと締結した協定の追加議定書では、2018年にドルベースで4%の枠の増加を定めている。

また、ブラジルの中央銀行の見通しによれば、ブラジル経済は2018年に成長路線を再開するため、アルゼンチン車の需要の増加が見込まれる。

この楽観的な見通しは、アルゼンチン自動車部品産業活性化法（セクション1.5.2参照）の公布、国内進出の中小企業促進計画、資本財への投資を促す中小企業法（法律27264/2016号）にも基づいている。

また、2017年の自動車協定（セクション1.5.1参照）は、税負担の軽減と人件費の削減を図り、国内工場の競争力向上の可能性に繋がる。事実、既にメーカー側の投資計画や新規企業の参入の発表が同見通しの裏付けとなっている。

1.6.1. 民間調査会社による自動車産業の見通し

エコラティーナ社が作成した最も確率が高いシナリオの見通しでは、アルゼンチン経済は2018年に2.5%のGDP成長を果たし、自動車生産は前年比で7%増加する。

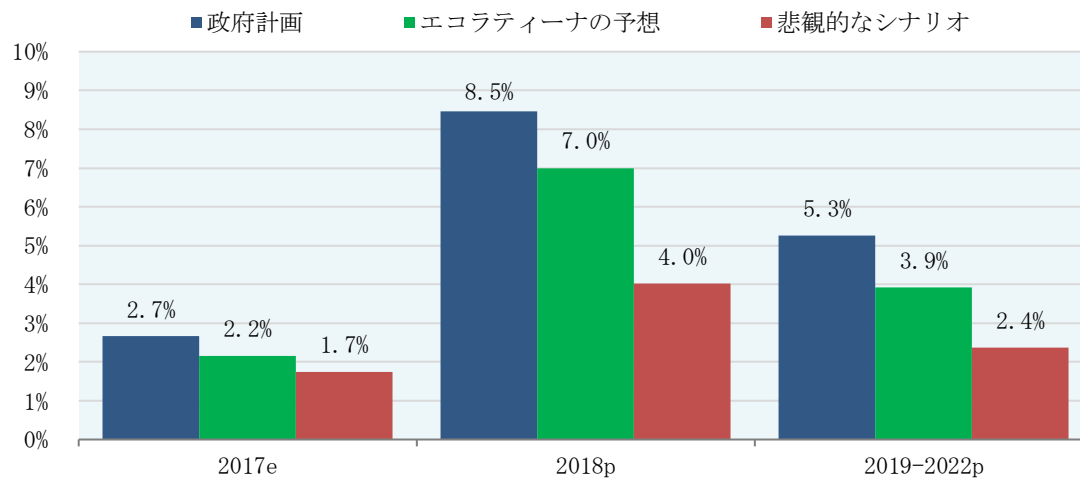
更に長期的に（2019年から2022年）見ると、アルゼンチン経済は投資の拡大による持続的成長のサイクルを定着させる予測だ。このような状況で、資本財（商用車およびトラックなど大型車）の購入も活性化し、自動車産業にとって有利に働いていく。

さらに、インフレ率は徐々に低下し、2020年には前年比で一桁台に達すると見られ、一般世帯が受けられる融資が改善され、耐久消費財の需要増加に繋がるとの予想である。

² 取得価額単位(UVA, Unidad de Valor Adquisitivo)はアルゼンチン共和国中央銀行によって作られた。その値は参照安定化係数(CER, Coeficiente de Estabilización de Referencia)という消費者物価指数の日々の変化を示す指数に従って毎日更新される。取得価額単位によって調整された貸付金は、従来の貸付金よりも長い期間を与えられ、初回支払額が低く、調整可能な測定単位によって金利が低いというメリットがある。

名目為替レートの変化は、長期的にはインフレに伴うと予測され、したがって、投資水準の向上や税負担の軽減、官制的規制の緩和による生産改善の後に、アルゼンチンの自動車産業の輸出能力は拡大するだろう（実際の為替レートは悪化せず、生産性が改善され、世界におけるアルゼンチンの貿易商品の相対的地位が高まる）。

図 8. アルゼンチンにおける自動車生産の見通し（前年比、%）



出典: エコラティーナ社独自の予想に基づく。

1.6.2. 自動車産業の SWOT 分析

自動車産業界の代表者や有力者とのインタビューを通じて、同業界の強み、弱み、機会、脅威 (SWOT) を以下のように並べた。

強み



- アルゼンチン政府は、自動車産業を同国の発展のための戦略的分野と考えている。
- ミッドレンジ自動車へ特化することでさらにピックアップトラックへの特化を補完し、強化することになる。
- アルゼンチンのピックアップトラック部門は地域において、高い競争力を持つ。
- ブラジルと生産を補完し合うことができる。
- 世界的な戦略的サプライヤー国に対してプレゼンスがある。
- 製造工場に供給するサプライヤーの能力と技術がある。
- 経験豊富な歴史を有する産業界である。
- 熟練労働者が雇用可能。
- 社会経済的かつ技術的発展において、アルゼンチンは南米の主導的立場にある。

弱み



- アルゼンチンの製造業について、政府による計画や長期的な政策が欠如している。
- メーカー側による長期的な戦略が欠如している。
- 国内需要の変化によって、生産計画が絶えず調整を迫られている。
- 適切なインフラ整備（港湾、道路、鉄道など）が不足しているため物流コストが高い。
- 非効率性や官僚的な手続きの負担が組み合わさることによるコスト超過。
- インフレ状況の結果として、原材料の国内参照価格が存在しない。
- 他の完全競争市場と比較して国際価格の妥当性が不足しているため、一部の原材料（アルミニウムや鉄鋼など）の価格に歪みがある。
- 他の国（ブラジルや、特にメキシコ）に比べて労働生産性が低い。
- 高い労働コストおよび時代遅れの労働協約は労働環境のニーズに合わない（柔軟性という点でブラジルに追い越されている）。
- 国内市場が小さいため、スケールメリットと製造可能な車両の種類が制限される。
- アルゼンチンは税負担が大きい。

機会



- 2018 年以降にブラジル市場が回復（アルゼンチン車の需要が増加し、ブラジルからの輸入が減少する見込み）。
- 自動車産業を発展させるための交渉基盤として、業界のプレーヤー間での包括的な合意（100 万台自動車計画）。
- 新規市場を含めた国際市場への再参入。
- 産業界の税率を下げる税制改革実現の可能性。
- 労働の柔軟化や生産性向上などに向けた労働関連の問題や条件交渉に対応する労働組合の姿勢。
- 主要メーカーがグローバル・プラットフォームを導入し、アルゼンチンは南米のピックアップトラック・ハブとして確立。
- メーカー数社の計画を含めた SUV の特化を進める可能性。
- 電気自動車 (EV) の開発
 - 充電ネットワークの開発、生産、輸入を促す政府側措置の存在
 - EV を認可する新規則を既に計画
 - 環境を配慮した革新的なソリューションの採用に意欲的な国内市場（特に大都市圏）の存在
 - 起業家精神の存在（自動車産業と中小企業の考えがマッチ）
 - 同産業を推進することになるリチウム資源も存在

脅威



- ブラジル市場回復の遅れ。
- 税制改革および労働改革の遅れや弱さ。
- ブラジルおよびメキシコマクロ経済が好調である場合、これら二カ国に投資計画が向けられ、結果的にアルゼンチンへの投資計画が遅延する可能性がある。
- 自動車部品分野の投資計画不足によるメーカーへの影響。

2. 自動車部品産業

2.1. アルゼンチンの自動車部品市場の概要

アルゼンチン自動車部品工業会（AFAC）によると、アルゼンチン自動車部品産業は 2014 年、GDP の 0.4%、国内工業生産の 3.7%を占めた。2016 年の輸出は、15 億ドルを達成し、製造品目輸出総額の約 4%となった。アルゼンチンの労働・社会保障省によると、自動車およびそのエンジンの部品やアクセサリーなどの製造を通じて 4 万 470 人の雇用を生み出している。

自動車部品分野は、その産業活動が多様であり、自動車メーカーとサプライヤー企業とのリンケージの度合いで分類することができる。まず、ティア 1 に属する自動車部品企業は、自動車メーカーに直接供給し、垂直統合システムの一部であり、グローバルな製造プロセスを持っている。ティア 2 の企業は、ティア 1 の企業や自動車メーカーに対して特殊なコンポーネントを供給する。ティア 3 の企業は、さらに標準化された部品やコンポーネントを製造する。対象の市場は断片化した各ティアとアフターマーケットとなる。

特定の顧客に対してあるティアに属す企業が、別の顧客または別のモデルについて別のティアに属すこともある。また、アフターマーケットだけに特化した企業も存在し、アルゼンチン市場のニーズに応じて部品の適合や変更を行っている。

図 9. 自動車のバリューチェーン

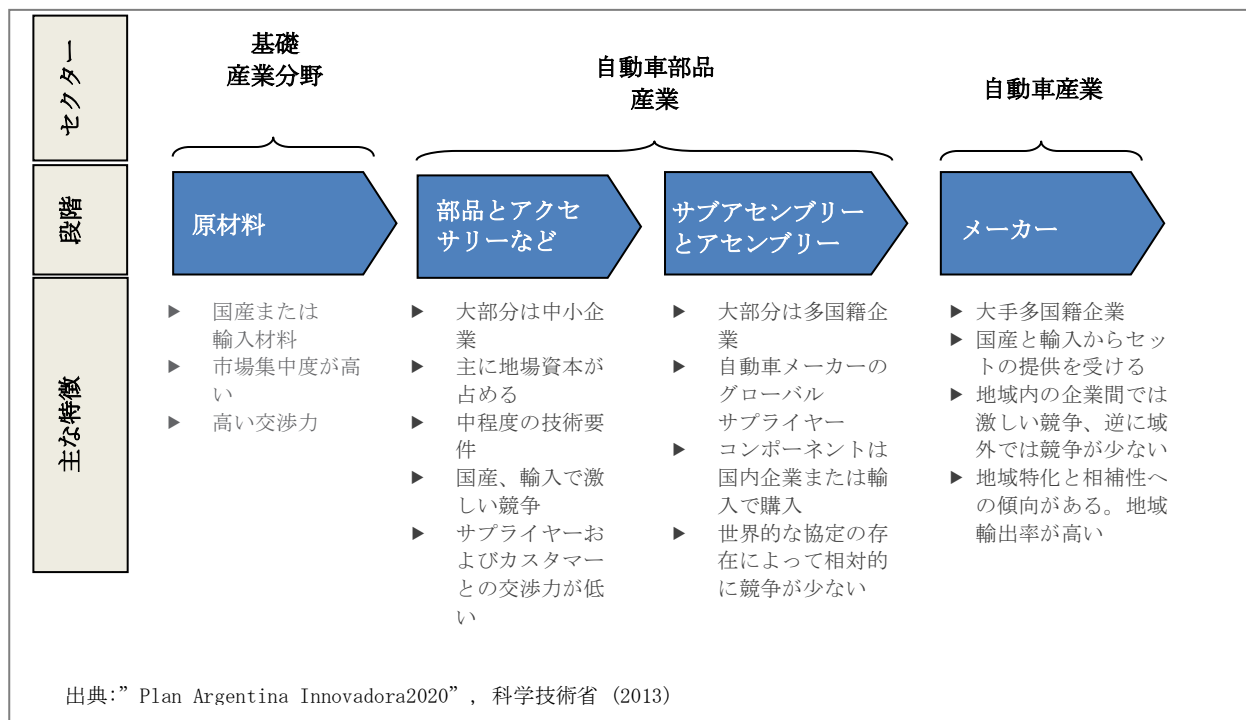
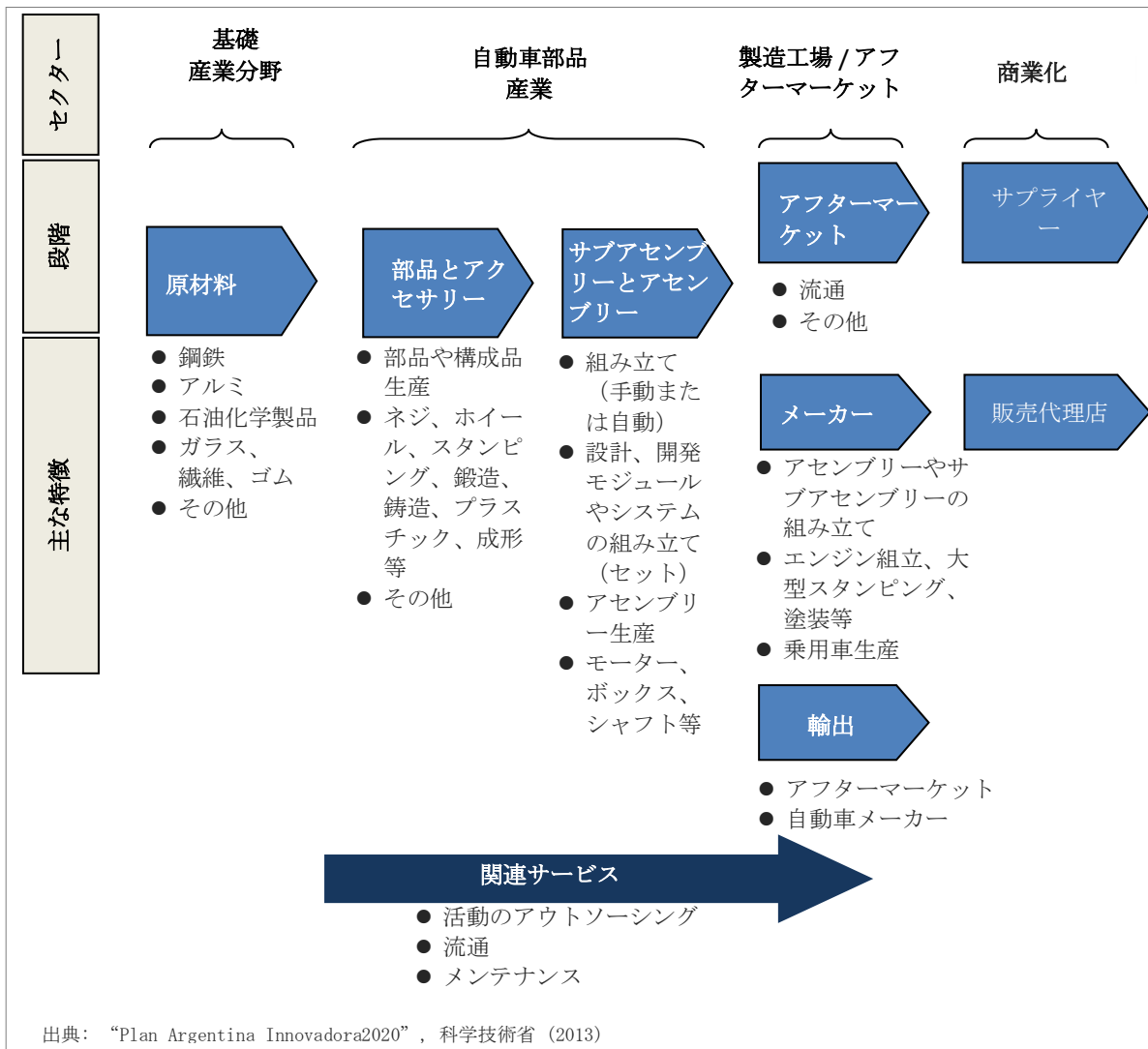


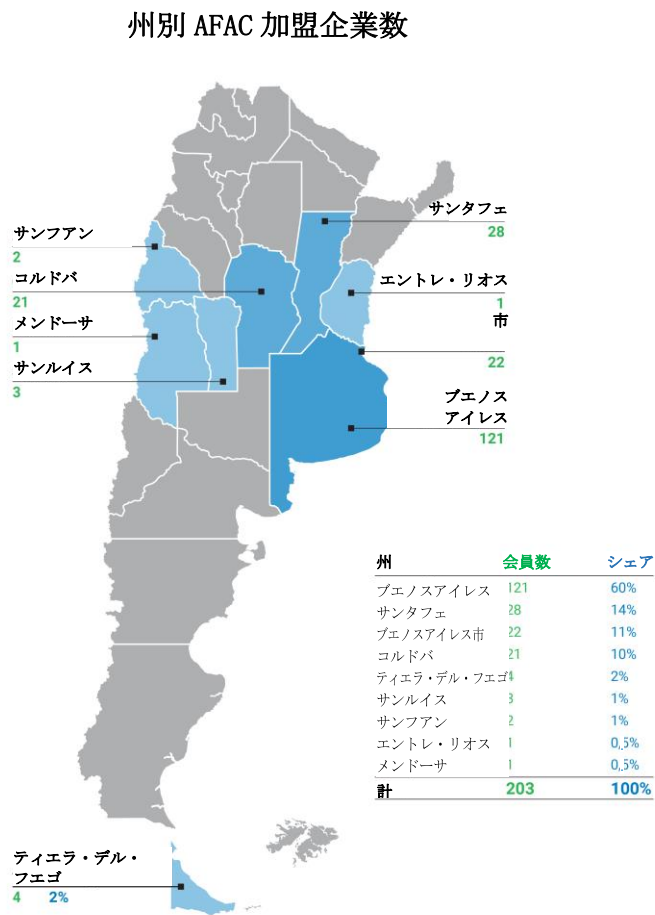
図 10. 自動車分野の技術バリューチェーン



今回の調査のために行ったインタビューで得られた情報によると、従来アルゼンチン自動車部品の半数は自動車メーカーに販売され、その他25%はアフターマーケットへ、10%は輸出（メーカーまたはアフターマーケット向け）、15%が自動車部品サプライヤーと農業機械市場との間で販売されている。また、構成品が自動車の工場出荷価格の65%から70%を占めると推定されている。

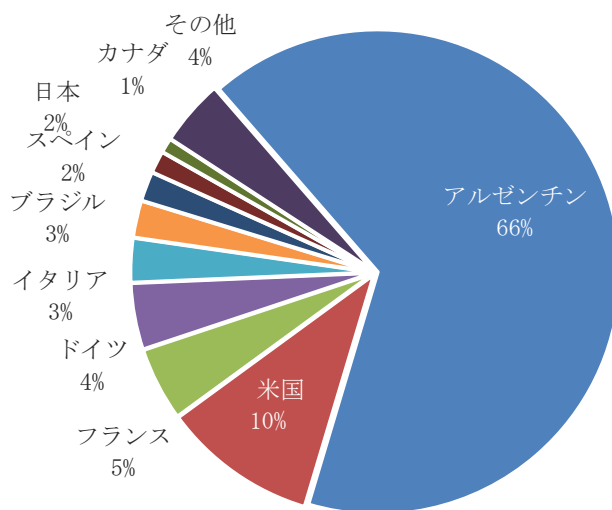
アルゼンチンには約400社の自動車部品会社があり、うち203社がアルゼンチン自動車部品工業会(AFAC)に加盟している。全加盟社のうち、約200社がティア1、ティア2に属する。ブエノスアイレス州、サンタフェ州、コルドバ州およびブエノスアイレス特別区にAFAC加盟社の95%が集中している。

図 11. 州別 AFAC 加盟企業数



出典：AFAC データに基づいてエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

図 12. 資本元別自動車部品企業シェア、%、2016 年



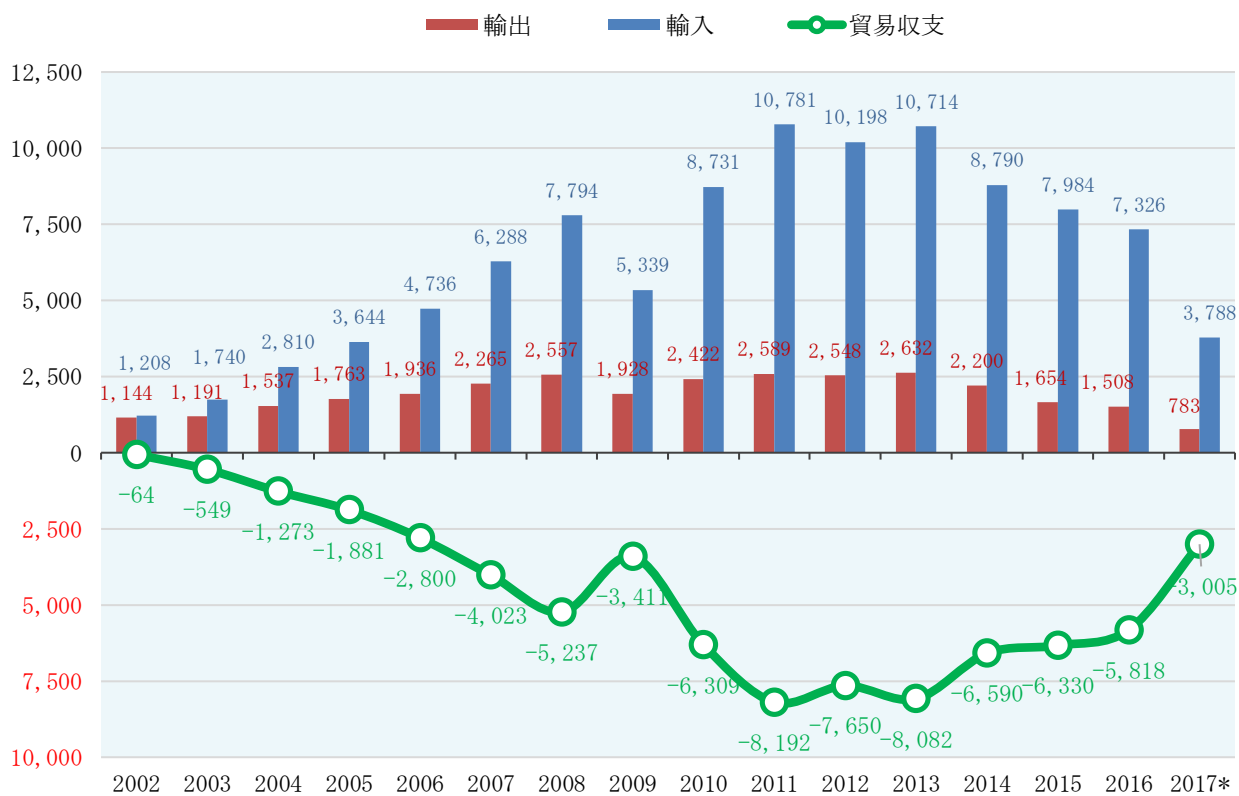
出典：AFAC データに基づいてエコラティーナおよびキー・マーケット社作成

2002年以降の自動車生産の増加によって、アルゼンチン自動車部品産業における貿易収支は構造的な赤字となった。2002年から2016年にかけて、自動車部品の輸入は年間平均13.7%上昇し、約6倍になった一方で、輸出は年平均2%上昇した。その結果、輸入と輸出の比率は、2002年のほぼ1:1から2016年には4.9:1へと拡大した。

民間の分析によると、自動車部品分野の貿易赤字構造は3つの要因によって説明できる。第1に、90年代の自動車部品に対する無関税輸入制度が始まり、アルゼンチン・ペソの実質的な上昇と相まって、国内の自動車部品産業が徐々に不安定化したこと。第2は、メルコスール協定によってアルゼンチンの国産化率が減り、輸入品の割合が増えることに繋がった。最後に、自動車メーカー側の戦略的な決定で、グローバル・サプライモデルを取り入れた結果、少数のサプライヤーと関係が限られた形となった。

また、アルゼンチン自動車産業の国産化率が低いため、自動車の国内生産の増加は、自動車部品の輸入の増加に正比例している。2003年から2011年にかけて（国際金融危機が起きた2009年を除いて）、自動車生産が持続的に増加した中、自動車部品輸入は年間平均27.3%増加した。2012年以降、自動車生産の減少と輸入規制の実施により、自動車生産は減少し始め、自動車部品の輸入も縮小した。

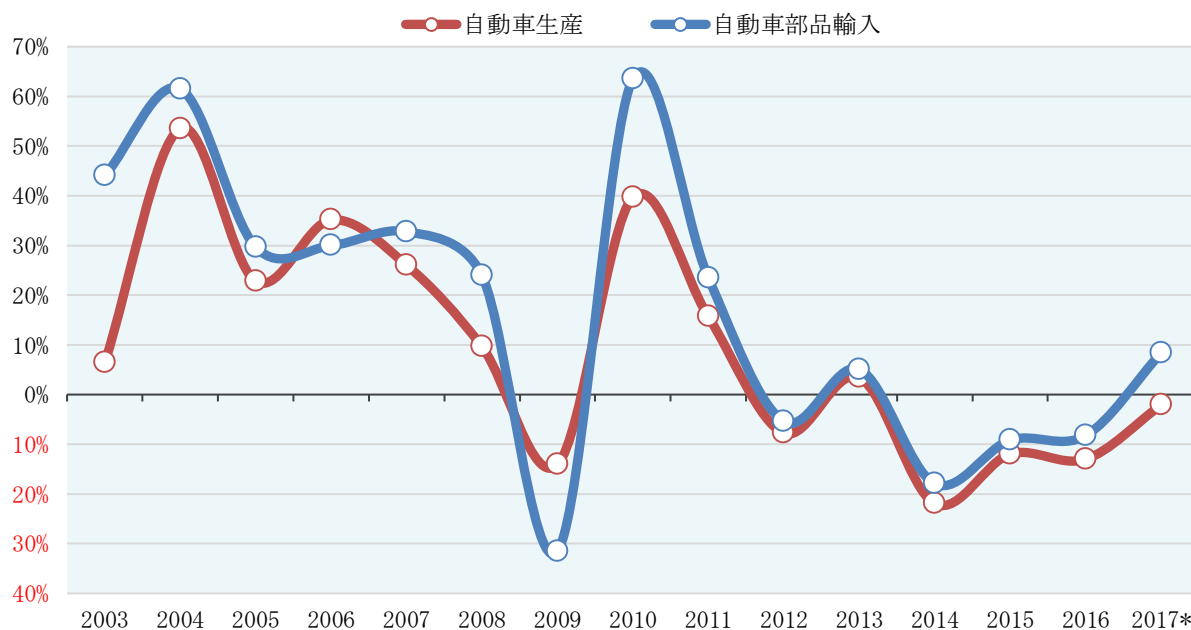
図13. 自動車部品の輸出入（単位：100万ドル）



出典： AFACデータに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

*6月までの累計

図 14. 自動車部品の輸入と自動車生産、前年比の推移



出典: AFACデータに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

*6月までの累計

表 10. 国別の自動車部品輸入 (単位: 100 万ドル)

輸入元	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年 1~6月
ブラジル	1,294	1,907	2,587	3,441	2,669	n/d	5,260	4,539	4,364	3,277	2,882	2,232	1,221
タイ	184	232	238	217	213	n/d	357	561	607	542	472	727	383
中国	159	241	312	438	290	n/d	1,098	1,132	854	811	934	802	365
米国	340	360	485	559	407	n/d	473	379	512	559	531	569	332
ドイツ	219	241	527	665	311	n/d	897	923	936	865	754	677	308
日本	238	330	323	350	262	n/d	482	633	702	624	418	293	165
フランス	139	197	520	337	330	n/d	398	596	605	402	372	365	146
メキシコ	38	38	37	59	61	n/d	176	157	197	189	199	284	129
イタリア	131	148	262	272	124	n/d	201	208	289	228	205	157	88
スペイン	119	113	176	224	148	n/d	329	284	261	168	149	149	63
ポーランド	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	60	61	80	61	51	66	49
韓国	32	46	57	58	55	n/d	220	208	113	77	89	101	42
ウルグアイ	46	53	89	106	78	n/d	137	104	99	78	70	74	41
南アフリカ	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	7	100	118	88	78	73	40
チェコ共和国	0	n/d	0	0	0	n/d	n/d	n/d	100	89	81	77	39
トルコ	0	20	0	0	36	n/d	101	84	93	66	55	50	n/d
フィリピン	n/d	n/d	n/d	n/d	0	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	25	49	33
インド	29	38	41	45	0	n/d	54	76	76	74	71	48	30
スロバキア	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	n/d	89	92	n/d	n/d	28	46	23
台湾	20	20	27	45	0	n/d	n/d	n/d	n/d	44	44	41	n/d
その他	689	832	705	1,064	668	n/d	1,011	704	708	587	477	448	258
合計	3,644	4,736	6,288	7,794	5,339	8,731	10,781	10,198	10,714	8,790	7,984	7,326	3,788

*合計は異なる場合がある。n/d: 情報なし

出典: AFAC データに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

表 11. カテゴリー別自動車部品輸入（単位：100 万ドル）

カテゴリー	2015 年	2016 年	2016 年/ 2015 年	2016 1～6 月	2017 1～6 月	2017 年/ 2016 年	2017 年 シェア
トランスミッション	1,831	1,500	-18.1%	707	814	15.1%	21.5%
エンジン構成品	1,208	961	-20.4%	456	567	24.5%	15.0%
電子関係	1,063	1,039	-2.2%	521	547	5.1%	14.4%
エンジン	680	792	16.4%	360	356	-1.1%	9.4%
溶接部品・ワーク	730	689	-5.6%	316	349	10.4%	9.2%
タイヤ関係	485	523	7.9%	258	278	7.7%	7.3%
内装部品	398	429	7.7%	195	211	8.4%	5.6%
クッション、ステアリング、サスペンション	284	279	-1.7%	132	140	6.1%	3.7%
その他のプラスチック部品	272	255	-6.2%	123	125	1.6%	3.3%
ブレーキ	209	200	-4.3%	98	97	-1.5%	2.6%
その他の部品	195	171	-12.1%	86	86	0.0%	2.3%
クーラー及び暖房、その構成品	239	167	-30.1%	84	62	-27.0%	1.6%
その他の金属部品	160	119	-25.9%	62	57	-7.5%	1.5%
その他のゴム部品	113	97	-14.5%	48	52	7.9%	1.4%
鍛造および鋳造	116	103	-10.9%	50	48	-4.4%	1.3%
合計	7,984	7,326	-8.2%	3,495	3,788	8.4%	100.0%

*合計は異なる場合がある。

出典： AFAC データに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

自動車部品の輸出は、2002 年から 2016 年にかけて年平均 2%増で、大きな変動を見せていない。

2014 から 2016 年にかけて、自動車部品の輸出はブラジル自動車産業が縮小したことによって減少を続けた。ブラジルはアルゼンチン自動車部品輸出の 60%近くを占めているため、ブラジルの自動車生産とアルゼンチンの自動車部品輸出は密接な相関関係にある。2013 年から 2016 年の間に、ブラジルの自動車生産は 40%近く減り、アルゼンチンの自動車部品輸出も 43%の大幅な減少を見せた。

2017 年に入ってから減少傾向は反転しており、ブラジルの自動車生産が 2017 年 1 月から 6 月にかけて前年同期比 23.3%の拡大を見せると、アルゼンチンの自動車部品輸出は同時期に前年同期比で 8.8%増加した。

表 12. 国別自動車部品輸出（単位：100 万ドル）

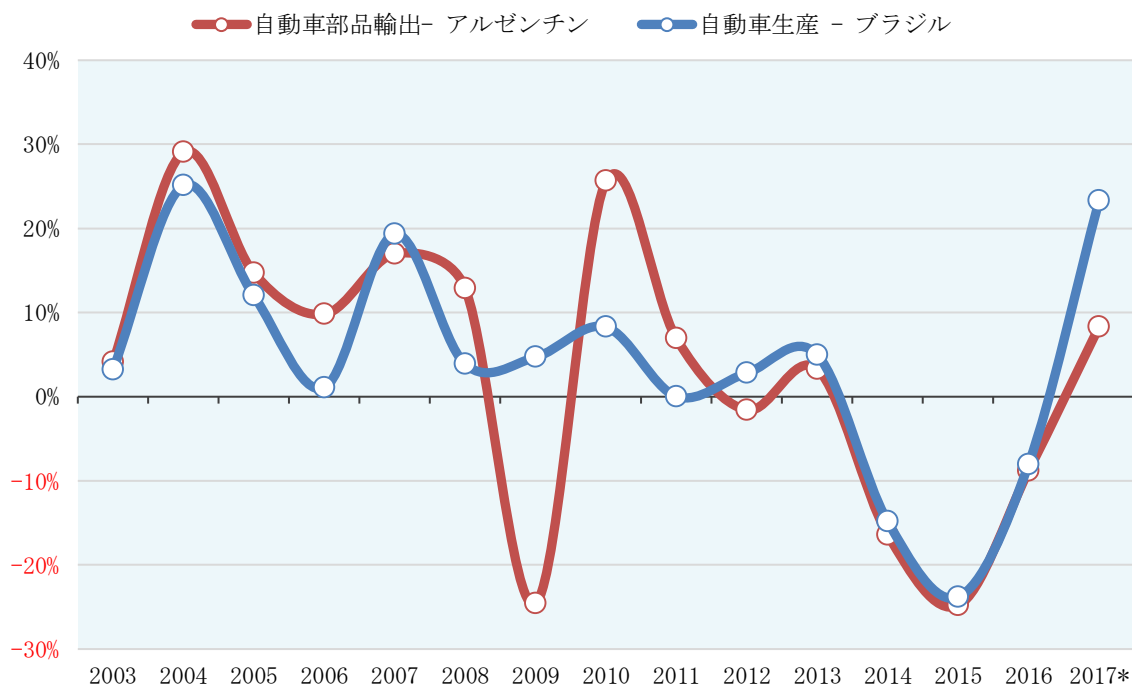
輸出先国	2016 年 1～6 月	2017 年 1～6 月	2017 年/ 2016 年	2017 年 シェア
ブラジル	432	470	8.8%	60.1%
ドイツ	38	62	63.2%	7.9%
米国	35	45	28.6%	5.7%
メキシコ	47	44	-6.4%	5.6%
チリ	24	23	-4.2%	2.9%
チェコ共和国	27	20	-25.9%	2.5%
ウルグアイ	17	19	11.8%	2.4%
スウェーデン	12	14	16.7%	1.8%
スペイン	16	13	-18.8%	1.6%
パラグアイ	12	11	-8.3%	1.3%
南アフリカ	9	9	0.0%	1.1%
ベルギー	2	7	250.0%	0.9%
ボリビア	8	6	-25.0%	0.7%
コロンビア	8	6	-25.0%	0.7%
ベネズエラ	7	4	-42.9%	0.5%
イタリア	3	4	33.3%	0.5%
フランス	4	4	0.0%	0.5%
タイ	3	3	0.0%	0.4%
ペルー	4	3	-25.0%	0.4%

カナダ	1	3	200.0%	0.4%
その他	15	17	13.3%	2.1%
合計	723	783	8.3%	100.0%

*合計は異なる場合がある。

出典： AFAC データに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

図 15. アルゼンチンの自動車部品輸出とブラジルの自動車生産 前年比の推移



出典： AFACおよびANFAVEAデータを基に エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

*6月までの累計

表 13. カテゴリー別自動車部品輸出 (単位：100 万ドル)

カテゴリー	2015 年	2016 年	2016 年/ 2015 年	2016 年 1~6 月	2017 年 1~6 月	2017 年/ 2016 年	2017 年 シェア
トランスミッション	691	583	-15.5%	293	314	7.3%	40.1%
エンジン構成品	241	196	-18.6%	93	96	2.5%	12.2%
エンジン	145	170	16.9%	75	89	18.4%	11.3%
タイヤ関係	132	169	28.1%	74	86	16.1%	11.0%
溶接部品・ワーク	129	116	-10.4%	52	55	5.0%	7.0%
その他プラスチック部品	57	53	-8.2%	30	39	30.5%	4.9%
クッション、ステアリング、サスペンション	77	64	-17.6%	31	32	1.9%	4.0%
電気関係	62	53	-14.4%	26	24	-7.3%	3.1%
内装部品	59	46	-22.4%	21	23	5.6%	2.9%
その他のゴム部品	19	20	5.9%	9	8	-14.3%	1.0%
その他の部品	11	12	5.3%	6	6	0.0%	0.8%
その他の金属部品	12	11	-11.5%	5	6	22.4%	0.8%
鍛造および鋳造	12	11	-5.0%	6	6	-3.5%	0.7%
クーラー及び暖房、その構成品	4	3	-32.5%	1	2	15.4%	0.2%
ブレーキ	3	3	-9.7%	1	1	-46.2%	0.1%
合計	1,654	1,508	-8.8%	723	783	8.3%	100.0%

*合計は異なる場合がある。

出典： AFAC データに基づき エコラティーナおよびキー・マーケット社作成

2.2. アルゼンチン自動車部品産業の課題

2.2.1. インタビュー

① OEMメーカー A社

・市場

2017年の新車登録台数は約90万台を達成する予定。アルゼンチン自動車産業の歴史で2番目に高い売上を記録する年になるだろう。

しかし、問題は売り上げの構成である。ブラジルで製造された自動車の販売率が一貫して増加している中、国内生産は停滞している。ブラジル経済のファンダメンタルズが是正されない限り、状況は変わらない。短中期的にこれが最も可能性の高いシナリオである。

台数で見ると、2017年にアルゼンチンで販売された車両の60%がブラジルから来ていて、国内で製造または組み立てられたものは30%未満である。

また、自動車販売代理店ビジネスは、収益強化のために大幅な改善を求められている。2017年は、記録的な販売台数、低い国内生産率、そして市場では収益に問題が発生しているという、風変りな年になりそうだ。

注目すべき点は、国内産業が示している柔軟性だ。アルゼンチン以外の国々では5%の上下は警戒すべきレベルとして認識されるだろうが、アルゼンチンでは20%前後の変化は普通と言えるだろう。

・ブラジル

ブラジルの政治経済危機は、同国の国内需要に大きな影響を与えてきた。自動車産業の場合、余剰生産能力は周辺国市場に向けられ、アルゼンチンは主要な輸出先となった。一方で、アルゼンチンのブラジル向け輸出は伸び悩んだ。

・政府の政策

現政権は、この分野を戦略的産業と位置付けている。市場の開放と自由貿易を目指す傾向があるが、この分野を「保護する」意図と共存するだろう。その主な理由は、同分野指標が全般的な経済状況に反映するものであり、直接及び間接雇用の増減にも大きく影響するからである。

・車種

乗用車について、アルゼンチン市場は小型車に指向しており、主にはブラジルから輸入している。その他のビジネスチャンスは、急激な成長を遂げているピックアップトラックにある。主には仕事用に使われているが、一部の消費者からはファミリーカーとして求められている。

すでにアルゼンチンでは「ピックアップトラック・ハブ」は存在すると言えるだろう。乗用車に必要なとされるものよりシンプルな製造プロセスであるのが特長だ。

・自動車部品

国内では良質な自動車部品供給がある。しかし、企業は常に適応し直し、投資も続けなければ、ますます加速する自動車産業の要望に対応できないだろう。

もう一つの傾向としては、政府の方針にも沿ったもので、国内で製造される車種に対する自動車部品国産化率の拡大だ。

弱点とされる自動車部品はアルミ精錬であるが、ビジネスチャンスも大きいだろう。一般に、アルミ部品は原材料供給がほぼ独占されていることもあって、国内価格に競争力もないため、ほとんど輸入されている製品である。

アルゼンチンには、室内装飾、ダッシュボード、パネルなどインテリアに優れたサプライヤーは存在する。

プラスチックや燃料タンクなど大きな容積重量を持つ部品や付属品も、国内での生産に有利である。自動車メーカーは、こうした分野で競争力のあるサプライヤーを持つためにサプライヤー開発プログラムを実施している。メルコスール域外からのサプライヤーの参入余地はないと言える。

リチウム・トライアングル（アルゼンチン、チリ、ボリビアの主要リチウム生産3カ国）も、自動車産業全般、特に自動車部品業界にとって大きなチャンスの源だ。このチャンスを生かすためには、国内で電池生産が発展しなくてはならない。それがアルゼンチン市場を代替燃料自動車という点から技術的ハブとして位置付けることだろう。

② OEM メーカー B 社

・市場

自動車分野は、これまで行き当たりばったりの政策や先行きの不透明さにさらされてきた。

2012年と2013年の2年間に記録的な売上高を達成した後、2014年から2015年には著しい落ち込みを経験した。様々な要因の中で、実質購買力の低下が大きく影響したと言える。販売台数の落ち込みは、輸入に適用された非関税障壁によっても説明される。完成車だけでなく、生産に必要な部材等の輸入も妨げられた。結果的に、供給されていた車種の質と量の低下に繋がった。

現政権下では、成長路線に戻る可能性が高く、2017年は2013年に記録された売上高に近づくだろう。

・ブラジル

ブラジル市場は、数量ベースで比較するとアルゼンチンより5倍大きい。企業本社の視点からは、中南米で最も重要な市場だろう。したがって、アルゼンチン市場は、主要貿易相手国であるブラジルの状況に大きく左右される。

アルゼンチン自動車産業は、ブラジルの回復に頼らざるを得ない。ブラジル経済が回復すれば、アルゼンチンの自動車産業は力強く成長するだろう。

・政府の政策

自動車ビジネスに変化をもたらすパラダイムシフトが感じられる。貿易面での規制や本社との債務問題を乗り越えた今、貿易政策の策定や資本投資を可能とする収益の拡大に重点を置く、正常なビジネスへと転換できている。

しかし、実際に競争力のある業界を実現するには、実施すべき政策は数多い。最も不利な要素として、高い労働コスト、非効率な生産性、税負担、実質的なペソ高、市場規模の問題などが挙げられる。

・車種

アルゼンチンは中南米のピックアップトラック・ハブになろうとしている。関連した計画が多いのは偶然ではない。代表的なのが、「ハイラックス」、「アマロック」、「レンジャー」などだ。ルノーもコルドバ州において「アラスカン」の生産プロジェクトを進めている。同州ではメルセデス・ベンツや日産の「フロンティア」も製造される予定だ。

・自動車部品

アルゼンチンは、スケールメリットと直接コストの低いグローバル・サプライヤーを前にして、明らかな競争力問題を抱えている。

最大の課題は、様々な促進計画の存在にも拘らず、歴史的に30%前後に留まっている自動車部品の国産化率を上げることにある。

近年、国内の自動車部品業界は厳しい時代を乗り越えてきた。中小企業は、2012年以降の国内生産の減少で痛手を受け、多くは外国サプライヤーに代替されていった。エンジンやギアボックスに関しても、国内供給は不足している。

国のレベルから見て、明らかに先端技術が不足している。地場自動車部品企業は、これら技術を有しておらず、こうした部材等を供給できる状況にはない。スケールの問題もあり、この状況は大きく変更されることはないだろう。

③ 関連団体 A

・市場

2016 年以降、特に 2017 年に入ってから、販売と生産の相関性が目に見えて乖離している。ブラジル経済の低迷により供給過剰に陥っており、アルゼンチン市場に強く向けられるようになった。

マーケットレベルでは、競争が激化し、最終消費者にとって大きな特典や割引が受けられるようになった。しかし、メーカーや、特に販売代理店にとっては収益性が大きく失われることを意味する。

また、メーカー間の熾烈な競争によって、積極的な売り込みも行われ、新車へのシフトが中古車市場の損失にもつながった。

重要な情報として、新車価格の上昇率が消費者物価指数を下回っており、これは中期的に修正される必要がある。

乗用車の新車登録台数は、輸入車が 68%を占め、この 10 年間で最高を記録した。

・車種

国内市場は歴史的に中小型車を好み、ブラジルはこの分野の生産に著しく特化している。この 2 つの要素の組み合わせが、国内生産が減少する理由を明確に説明している。

並行して、アルゼンチンはピックアップトラックやユーティリティー車に特化している。この市場は前年比で 20%の成長率を示しているが、乗用車の生産は下降傾向を続けている。

近年、メーカー側が実施してきた計画や投資発表などによって、この傾向の継続がきた明らかになっている。トヨタの「ハイラックス」のための生産能力の拡大、日産の「フロンティア」生産プロジェクト、ルノーの「アラスカン」、メルセデス・ベンツなどが挙げられる。

このような背景には、メーカー側のブラジルとの補完戦略や、この国の内需の特性がある。また、農業関連活動も大きく影響している。さらに、付加価値が高く、小型車に埋めることのできない、貿易収支の改善に役立つと言える。

現時点では重要なものではないが、電気自動車の国内開発プロジェクトも存在する。ルノーはコルドバ州で EV の「カンゲー」を生産するプロジェクトを進めている。

・自動車部品

自動車メーカー側の需要に対して、設備容量は大きく不足している。

- サプライヤー数が少ない
- 競争が不足している
- 国内供給のないカテゴリーがある
- 生産規模が小さい
- 技術の不足

自動車メーカーが実施している投資のレベルに、自動車部品産業は追いついていなかった。

自動車部品産業活性化法は、国内で事業を行う自動車メーカーおよび自動車部品サプライヤーに対しインセンティブや払い戻しを定めた良いツールだ。しかし、未だ具体的な成果には結びついていない。

政府の両分野に対する支援政策は明確なものだ。

・業界の問題や課題

労働力

最大の課題は生産性を向上させることだ。労働協約などは非常に古く、現在の生産活動の要求を満たしていない。

税負担

同産業に対する課税率や二重課税は、強い負担となっている。

流通

物流コストの上昇は、深刻な悩みとなっている。道路や港湾インフラの投資が必要だ。鉄道への投資も必要だが、予測が難しく時間のかかるインフラ分野である。

④ 関連団体 B

・自動車部品

国内の自動車部品市場では、幅広い供給と良質さが特徴だが、供給能力のないビジネス・ニッチが多く存在する。

ブレーキ・システム

国内供給がない。ビジネスおよび技術上の特性から、グローバル企業の子会社による展開が望ましい。

電子関連部品

需要が増え、国内の供給では需要に追いつかないカテゴリー。

ハードウェアとソフトウェアに分類されるビジネス。前者に参加するのは困難だが、プログラム開発では十分な才能と能力が存在すると思われる。取り組んでいくべき課題の一つだ。

鑄造製品

国内にとっては重要な分野だったが、明らかに低迷している。大半はブラジルからの輸入で、同国は数多くの投資を行ってきている。

エンジン

エンジン構成品（バルブ、ロッド、クランクシャフト）を製造する能力は十分に存在するが、エンジン自体は製造できていないのが現状。

機械分野では、ジョン・ディアが投資を行っていて、現在は製造している。また、GMの進行中プロジェクトは、アルミブロックを持つエンジンの設計と製造を行う。

エンジンの工場は、世界規模で考える必要があり、アルゼンチン市場のように4万台から7万台を供給するだけでは不十分である。最低20万台のエンジンを製造するビジネスモデルの計画が必要だ。

ランプ

輸入品が主ではあるが、国内供給を開発する余地は残っている。

国内で十分に供給がある部品のカテゴリーは、次が挙げられる。

- プラスチック関連部品
- 内装
- ゴム製品
- ウェザーストリップ
- ステアリング・システム
- ショックアブソーバー

- 金属スタンピング、ただし設備容量は増やす余地がある。
- エアコン、ただし多くの部材が輸入されている。

• 自動車部品の販売先

販売先は次のとおりに分けられると考えられる。

- 自動車メーカーへの販売 50%
- アフターマーケット 25%
- 輸出およびその他の販売先 25%

ビジネス戦略は、プレイヤーによって異なる。一般的に、自動車メーカーへの直接供給はスケールメリットが保証されるが、収益は下がる。利益を最大化したいサプライヤーは、アフターマーケットに販売することもある。

中小サプライヤーにとって、市場の不安定さが課題であるが、アフターマーケットに販売することによって、多少緩和させている部分もある。

• 自動車および自動車部品産業の問題と課題

生産性

最大の懸念事項だろう。

中南米地域の3つの自動車生産拠点（アルゼンチン、ブラジル、メキシコ）を比較すると、アルゼンチンの生産性は国際基準を大きく下回っている。メキシコは労働者1人当たりが40台を超え、ブラジルは21台、アルゼンチンは18台の生産に留まっている。

労働協約は70年代に締結されたものであり、現代のニーズに合わせて更新することが不可欠だ。これら産業界では2つの労働組合が存在する。金属労働組合（UOM）と自動車機械労働組合（SMATA）で、後者の方が柔軟性は高い。

税負担

こちらも競争力を高める際に考慮しなければならない。一般的に、税制負担は約50%で、うち総売上税が8%から9%に上がる。

原材料の提供

特に自動車部品産業に対しては、2つの重要な原材料（アルミニウムとスチール）の価格が国際価格を上回っている。「一時的輸入」では、国際価格での原材料輸入が可能で、国内で加工し、海外への輸出が可能。アルミニウムの国内価格は、自動車部品の国内生産発展を妨げている。

⑤ 関連団体 C

• 市場

電気自動車（EV）や様々なエネルギーを使う自動車市場は、世界的な傾向として根付いている。新興国市場はこの変化を受け入れる最後の市場になるだろうが、自動車産業は間違いなくこのコンセプトに向かって移行していこう。

ノルウェーは同市場シェアの世界的トップだが、絶対数で見ると、流通している台数が最も多いのは中国だ。2040年までに化石燃料車は走らなくなると予想される。

国内では、事実上供給が存在しない。適切なインフラやインセンティブ・プログラムはなく、さらに、価格は市場の平均よりもはるかに高い。

2017年末または2018年早々に、ルノー「カンゲー」のEVバージョンが約40万ペソで発売される予定だ。

・政府の政策

現政権は、この市場の発展のために向けた具体的な取り組みを行っている。政令第 331/2017 号は、6,000 台の電気自動車およびハイブリッド車を 1 年間関税無しで輸入を許可している。

具体的な発表は少ないが、より多くの税制優遇措置によってこの分野の発展を促すものと期待される。

・予想

国内レベルでは、「代替燃料車」市場が 2019–2020 年に確立されることが期待される。

リチウムは、アルゼンチンに商機を与えてくれる。トヨタをはじめとする日本企業が電池製造工場の発展を検討すれば興味深いことになる。しかし、プロジェクトを失敗させる要素にもなりうるスケールメリットには注意が必要である。

⑥ 政府機関 A

・市場

2017 年の自動車市場は、販売台数が 80 万台から 90 万台に達すると予想され、政府目標である 2023 年の生産台数 100 万台に向かうための基盤が出来上がり始めている。

・ブラジル

メルコスールとブラジルは、唯一ではないものの、自動車産業の回復を果たすために最も重要な柱である。ブラジルは 400 万台の市場だったものが、50%以下まで落ち込んだ。しかし、2017 年末の予想では約 230 万台まで回復する見通しだ。

・政府の政策

同産業の再構成とパラダイムシフトが検討されている中で重要な戦略的位置付けの確保が求められる。主な政策は以下の通り。

- *規制の枠組みの変更*：官僚的な弊害の影響を最小限に抑え、ブラジルや他の貿易相手国との貿易プロセスを調和する。
- *税制の構造*：税構造、不公平な税金、その他のコストが競争力の水準に及ぼす影響を見直す。
- *流通*：同分野が必要で適切なインフラを提供する。インフラ投資に関連して包括的な計画の実行が必要である。
- *労働生産性 - 人的資本*：同産業における雇用と採用方法や条件設定を近代化する必要がある。関連企業と労働組合を含めた合意の一環として調整が必要。

これらを達成するために、以下の取り組みが求められる。

- *同産業の専門性*：スケールの限られた市場の中、付加価値の高い車種生産に特化する。例としては、既にノウハウを強化できているピックアップトラック分野や高・中級車の軽商用車や SUV などだ。
- *国産化率*：目標は国内生産の自動車部品の使用率を 40%に到達させることである。ピックアップトラックのカテゴリーでさらに高い国産化率を達成している。また、メーカー側の計画では、具体的に同目標をを目指すものもある（フィアットと PSA）。
- *市場の多様化*：ブラジルは今後も強力な貿易相手国だが、南米の他国、アフリカ北部、南アフリカ、さらには特定の EU 諸国など向けに輸出を拡大するのが目標だ。コロンビアとの協定は、この政策の一例である。

イノベーション政策をリードする機関として、アルゼンチン国家工業技術院（INTI）を強化する計画も重要となる。

さらに、現在アルゼンチンに存在しないために規制されていない自動車カテゴリーの定義にも取り組まれている。

⑦ 自動車部品企業 A 社、ティア 1 - 外国資本

・市場

自動車部品の販売分布は、異なる場合もあるが、多くの国内自動車部品サプライヤーは同じ路線をたどっている：生産の50%が自動車メーカーに供給され、残りがアフターマーケットと輸出に向けられている。

主要国際市場は明らかにブラジルだ。各社の特性にもよるが、その他にはメルコスール諸国、メキシコ、そして一部欧州向けにも輸出されている。

自動車部品産業は 2014 年まで継続的に成長し、数多くの企業が過去最高を記録した年となった。その後、マクロ経済の状況や自動車産業界の特有の状況によって、生産は激減した。

産業カテゴリーや自動車メーカーとの関係によって異なるが、年間約 5~10%の成長率を見せている自動車部品市場に対し、大きな期待もかかる。

・ブラジル

ブラジル市場の低迷は、アルゼンチン市場の不況よりも強く自動車部品業界にダメージを与えた。需要の回復は、2018 年に見込まれている。

・政府の政策

国内の自動車部品産業は、自動車部品産業活性化法の制定を歓迎した。今後の改善への第一歩であり、通関での官僚的な手続きも減りつつある。

課題

一般的に、同分野での投資が大きく遅れていると感じ取れる。自動車メーカーによって先進技術を強く求められるティア 1 のカテゴリーでは、状況はそこまで顕著ではないが、地場資本のティア 1 やバリューチェーンを下っていくと、投資の不足や遅延は明らかだ。

グローバルな自動車部品企業と地場資本企業間の距離は計り知れず、その差はさらに広がる傾向にある。企業のあらゆる側面、すなわちビジネス全体のビジョン、投資を展開する能力、専門的品質などに大きく波及する。

⑧ 自動車部品企業 B 社、ティア 1 - 外国資本

・市場

国内市場における重要性から、アルゼンチンはピックアップトラック分野に焦点を当てている。

ピックアップトラック向けの国内の自動車部品サプライヤー少なく、競争はアルゼンチンではなく、ブラジルで起きている。

「ハイラックス」が主に占めている市場に「アマロック」が加わり、今後さらにその他計画も加わる予定の中で、アルゼンチンではピックアップトラック・ハブが既に成り立ったと言える。

すでに生産中の車種と今後進出予定の車種を見ると（GM の「S10」を除く）、アルゼンチンにおいて販売されているすべての商用車が国内で生産されている。

自動車部品に関しては、年率 3~5%の穏やかな成長が見込まれる。

ピックアップトラックの新規プレイヤーの国内参入は、必ずしも同カテゴリーのプラス成長傾向には繋がらない。純粋な台数の拡大とはならず、プレイヤー間の競争が激化すると予想される。

・ブラジル

アルゼンチンにおけるビジネスが拡大するには、ブラジル市場の好転が必要なのは明らかだ。しかし、市場回復は、2018年の大統領選挙後の新しい政治環境が整ってからになると想定される。

・政府の政策

自動車部品産業活性化法は、同産業に役立つと思われるが、「アルゼンチン・コスト」は依然として非常に高いため、十分な政策とは言えない。

・商機と課題

日本の自動車部品サプライヤーに焦点を当てると、電子部品分野に商機があると見られる。国内におけるサプライヤーは不足している一方で、日本はこの分野に特化している。

⑨ 自動車部品企業 C社、ティア 1 - 外国資本

・市場

自動車部品業界は、国内の自動車生産の低迷による影響を受けた。

アルゼンチンの自動車産業は差別化を追求しなければならない。小型車を求める市場は、常にブラジルの発展の陰に立つことになるだろう。このため、アルゼンチンは、中型車、ユーティリティ車、ピックアップトラック、SUVの供給に注力していかなければならない。一方で、ブラジルは小型車の生産を主導していこう。

この現象は新しいものではなく、世界にはこの差別化が有効であることを説明する前例がいくつかある。最も象徴的なのは、タイのケースで、この国はピックアップトラックの製造に専念している。

トヨタは、需要台数という点からも最も活発なメーカーでありながら、国内産業のペースメーカーにもなっている。イノベーション、投資政策、設備容量の拡大、国内サプライヤーの開発などを主導している。トヨタの進出によって、この国の自動車産業が大きく変わったと言えるだろう。

・課題

アルゼンチンは今、将来の方向性を決めなくてはならない重要な時期にある。10年間続いた介入政策の後、オープンで明確なルールで動く市場に向かうべきである。過去の政策は、鉄鋼や特にアルミニウムなど、国内原材料の歪んだ価格をもたらす結果となった。

競争力の欠如は、自動車分野が抱える最大の課題であり、自動車部品産業ではさらに深刻だ。自動車メーカー、自動車部品企業、労働組合、さらに政府も含めたプレイヤーが対話を通じて実現可能な産業モデルを考えるべきだろう。原材料費、人件費、税負担によって、国内産業は生存が難しい状況にある。

日本の自動車部品サプライヤーには、鉄、アルミニウムの casting、電子関連部品などの商機がある。ピックアップトラック用のギアボックス、エンジンもニッチ市場がある。

⑩ 自動車部品企業 D社、ティア 1 - 国内資本

・市場

ブラジルの自動車産業が小型車を多く扱っているからといって、アルゼンチンが完全にこのカテゴリーから除外されているわけではない。厳密に言えば、アルゼンチン国内で製造されている小型車や中型車はある。

その一環で、ブラジル製品の対アルゼンチン市場流入は、国内生産のこれら車種を大きく減少させた。またその影響で、関連部品や構成品の需要が縮小し、アルゼンチンのサプライヤーに大きなダメージを与えた。

自動車メーカーと密接な関係を保ってきた企業も、生産の一部をアフターマーケットに向けや外国市場との取引を発展させるなど、適応せざるを得なかった。

この過程によって、自動車部品サプライヤーの数社が廃業を余儀なくされ、他の外資企業などもアルゼンチンから撤退して行った。

・政府の政策

自動車部品産業活性化法は、これまで産業界において具体的な効果を発揮していない。2019～2020年に何らかの変化を期待したい。

⑪ 自動車部品企業 E社、ティア 1 - 国内資本

・市場

生産の大幅な減少が特徴となった過去 2 年間に於いて、自動車部品市場は自動車メーカーへの販売を縮小させながら、アフターマーケットビジネスに転換せざるを得なくなった。

現在、販売は回復に向かっているものの、生産は依然として低迷しており、状況はあまり変わっていない。

・ブラジル

ブラジルが地域のリーダーシップを回復しない限り、周辺国経済は十分に発展することができないだろう。しかし、この状況は一見逆説的でもあるが、ブラジルが力を持ち過ぎるのもリスクの高い状況で、自動車メーカーや部品メーカーは、スケールメリットの見込める市場に進出していこう。要するに、大きなブラジルは必要だが、アルゼンチン市場を陰らせるほどの巨大化は望まれない。

・政府の政策

統計数字にはまだ反映されていないが、ビジネス環境は間違いなく変化している。

過去においては、現実とは異なる経済指数の動きが見られ、業界としては長年に渡って非常に困惑な経験をしてきた。

生産工程に必要な部材を輸入する自動車部品メーカーにとって、通関でのオペレーションも理にかなってなかった。

幸いにもそれら課題は徐々に改善しつつあり、見通しも良い方向に向かっている。

・課題

透明性を取り戻すためのプロセスが始まった中、未だ疑念を抱かせる兆候もある。例えば、税関局は 2017 年 7 月以降、閲覧可能な貿易関連情報の量を減らし始めた。それまでは、ダウンロードが可能だった情報が、現在は不可能。特に重要な情報ではないが、ポジティブなメッセージを与えていない。透明性、物流、生産性などの改善を含めて残されていた課題は多い。

⑫ 自動車部品企業 F社、ティア 1 - 外国資本

・市場

トラックと大型トラックの分野は、2016 年以降大きく改善した。もともと小規模な分野でありながらも、中には 90 から 100%成長したニッチ市場もある。

前者と比べて少し抑めながらもバスや農業機械の成長も回復した。

農業用機械分野（トラクター、ハーベスター、数は少ないが自走式噴霧機）は、2017年にめざましい成果を上げた。輸出税の撤廃によって、5年間に渡って需要低下が続いたこの分野の回復を可能にした。

マクロ経済観点から、部品産業ビジネスは、必ずしも自動車農業機械産業の発展に伴わない。各部品サプライヤーが開発する製品の位置付けによって状況が異なるのが実情だ。

自動車メーカーへの依存度が高いティア1サプライヤーが、これら工場の増減に苦しむ傾向がある。二次下請けのティア2サプライヤーは、アフターマーケットや輸出に重点を置くため工場の増減による影響は少ない。

・見通し

ブラジルは2018年に回復すると思われ、アルゼンチン市場はその恩恵を受けると期待されている。

大型トラックは、今後も成長が見込まれる。農業機械では、劣化した機械の多くが既に買い換えられ、2017年の数字を維持するのは難しいだろう。

国内には多くの良質なサプライヤーが存在し、新規投資の余地はいくらでもある。アルゼンチンでは、ブレーキ・システム、センサーや関連ソフトウェア、ランプなどのニッチ市場が不足していると言える。

・課題

課題は、他業種と同じように、労働改革と税制改革による税負担の軽減などが必要。インフラ整備不足も深刻である。

⑬ 自動車部品企業 F 社、ティア 1 - 国内資本

・市場

アルゼンチン自動車産業は危機を乗り越え、その中でもピックアップトラックビジネスは堅調だった。

交換品ではないアクセサリーの販売は、それ自体が一つの市場であり、ピックアップトラックの売れ行き増によって拡大されている。比較するとその割合は低いものの、その他カテゴリー（乗用車、SUV、トラック）用のアクセサリー販売も好調だ。しかし、後者のカテゴリーは、メーカー側でしっかり装備されているため、アクセサリーの需要は増えにくいと考えられる。

いずれにしても、アクセサリー販売は新車向けが主であり。中古車向けの供給は少ない。

・課題

アフターマーケットと密接な関係を持つ企業としては、構造的な問題より、むしろ経営面での問題に直面している。支払い遅延、欠勤率の高さ、顧客の金融サービス利用率の低さ、支払や返済方法に関連する技術・文化的遅れ、などが挙げられる。

グローバル企業と共通する問題も抱えている。労働コスト、組合加入率、もともと競争力のない企業に対する過度の税負担率、などだ。

2017年は、予想以上に自動車業界と自動車部品サプライヤーにおける販売が好調だった。2018年の予想は楽観的であり、企業家や消費者の信頼感も高まっている。

しかし、同社では製造工場をブラジルへ移転することも検討された。ブラジルのコストがアルゼンチンより25%低いと判明したのである。

⑭ 自動車部品企業 G 社、ティア 1 - 外国資本

・市場

現在、販売は増加しているが、自動車生産は依然として停滞している。

内装（パネル、ドアパネル、コンソール、シート、など）関連市場は、2016年から2017年にかけて安定していた。

自動車部品サプライヤーの状況に関し、特にティア1の各企業の状況は、メーカーとの関係や協定によっても大きく異なり、ユニークなケースも多いと言える。

トリム（内装）のような特定ビジネスは、特徴的で製造と組立が同じ場所で行われ、大量の容積や重量、複雑な物流などから、ほぼ輸出も輸入も不可能だ。

ブラジルの回復と共に国内市場も回復に向かうだろう。販売は順調に伸び続けるが、生産の回復は2019年に見込まれる。

・政府の政策

自動車部品産業活性化法は非常に良く、国内生産を促進させる。しかし、同法の長所は同時に弱点でもある。新規プロジェクトを主な対象としているため、具体的なメリットは2019年以降にしか見出せない。

同法はメーカーに焦点を当て、国産化率と国産品の購入に応じた恩恵が設けられている。これら恩恵が、自動車部品サプライヤーにも直接的に受けられるような仕組みも必要だろう。

柔軟な労働制度の制定も必要だ。労働力（賃金、欠勤率）は、業界にとって未解決の問題だ。

最後に、生産性レベルを改善しなければ、競争は不可能だ。現在の状況では、アルゼンチンは国際基準を満たすことができない。

・商機と課題

自動車産業全体の課題は、ニッチ市場の特化戦略の強化にある。アルゼンチンは、中型車やピックアップトラック、更にSUVなどに専念すべきだろう。規模でブラジルと競うのではなく、両国市場の補完を目指すべきだ。

自動車部品産業には、次のような商機があると思われる。

- エンジン： エンジンの国内生産がない。自動車を生産しながら、エンジン生産が存在しないのは皮肉だ。実現できる市場は存在するが、多額の投資も必要だ。それには完全に予測可能な政策が必要である。
- ギアボックス： フォルクスワーゲンのみが国内で生産している。国際的プレイヤーを考えると良いビジネスチャンスだ。
- インパネ部品： 国内の供給がない。
- ランプ： 国内のサプライヤーはバレオしかなく、現在投資の削減プロセスに入っている。
- 電子関係部品： 供給は存在しないに等しいが、韓国との競争は非常に複雑である。
- ガラス： サプライヤーはピルキントンだけである。他のプレイヤーの参入が必要。
- トランスミッション： 唯一の国内サプライヤーはベントラー・オートモーティブだったが、同社はアルゼンチンを撤退。現在、国内サプライヤーはない。
- ドアガラスラン： ハッチンソンが市場を撤退した後、国内サプライヤーがなく、ビジネスチャンスが存在している。
- プラスチック製燃料タンク： サプライヤーはイナジーだけである。
- 鋳造： 国内の供給はほとんど存在しない。

一方、国内レベルで十分に供給されているカテゴリもある。

- スタンピング
- 成型
- 内装、トリムおよびシート

2.2.2. 自動車部品産業の SWOT 分析

自動車部品業界の代表者や有力者とのインタビューを通じて同業界の強み、弱み、機会、脅威（SWOT）を以下のように並べた。

強み



- アルゼンチンにおける熟練した自動車部品産業の存在：ブエノスアイレス、コルドバ、サンタフェの3州において関連企業400社、訓練された人材、生産拠点などが存在する。
- トヨタ参入後、国内自動車部品サプライヤーがピックアップトラックに特化した開発と改善が向上。
- 自動車部品カテゴリー、特にトヨタの生産プロジェクトに関わる企業が投資計画や技術的更新を継続。
- 2016年公布の自動車部品産業活性化法は、同分野発展の良好な出発点となった。

弱み



- 一部の分野では、老朽化した技術（例えば鋳造部品）利用しており、投資も不足している。
- 内装、トリムなど、一部の分野は独占されている。
- 新技術に適応できない製品の見直しが必要。
- 特にアフターマーケット向けのブラックマーケットの存在。
- 低い生産性、高い欠勤率、高い災害保険コストなどの存在。
- インフラ整備不足により、国内の流通コストが高い。
- アルゼンチン経済における官僚的な手続き負担、非効率性などを組み合わせた高コスト。

機会



- 政府が設定した国産化率の目標（2023年には国産化率は40%）は、同産業の発展に好ましい枠組みを提供している。
- 大手グローバル・サプライヤーの撤退（ドアガラスランのハッチンソンとトランスミッションのベントラー・オートモーティブ）。
- ガラス、ランプ、ギアボックス、エンジン、プラスチックタンク、アルミニウムなどの特定のカテゴリーには代替サプライヤーが不足し、新規参入の余地がある。
- 国内メーカーとの合意により、新規グローバル・プレイヤー（プレーキ・システムなど）のアルゼンチン進出の可能性。
- 電子関連部品生産は、国内のみならず国際的に発展する可能性が高い（現在国内に供給はない）。
- スタンピングなどの輸入代替。
- 国内における税制改革と労働改革の実現の可能性が高い。
- 電気自動車のカテゴリーは、現在の自動車部品サプライヤーや新規プレイヤー（特に中小企業）に商機を与える。
- 日産、ルノー、メルセデスベンツなどのピックアップトラックに関連する計画は、自動車部品サプライヤーの発展に寄与する。
- 一部メーカーがグローバル・プラットフォームを用いた国内生産を決定し、国内の自動車部品サプライヤーの国際競争力向上に繋がる。
- 長期的な投資を行うトヨタなどは、予測可能な状況を作り上げている。
- アルゼンチン農業市場の回復によって、農業機械用自動車部品カテゴリーの発展に追い風になる。
- 東風汽車、BYD、力帆集団（当面は輸入品のみ）など、メーカーの新規参入。
- INTI（アルゼンチン国家工業技術院）など技術機関の強化によって、自動車部品企業の開発支援を図る。
- 自動車部品産業活性化法と自動車協定に加えて、同産業に向けた具体的な促進策を求めている。

脅威



- WTO加盟国が自動車部品産業活性化法に対して申し立てた異議は、同法の一部見直しの必要性や、国際協定を妨げる可能性がある。
- 市場の動きに応じて生産を縮小するPSA、ルノー、GM、VW、FCAなど主要メーカーの戦略は、自動車部品産業による長期的な投資計画決定を滞らせる。
- ブラジルの自動車部品産業（アルゼンチンの4~5倍）の規模は、そのスケールメリットから高い競争力を持つ。
- 100%輸入品を扱う自動車部品業者の参入（例えばアクセサリーなど）。

付表 I. アルゼンチンの主な非日系自動車部品メーカー

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
3M Argentina	自動車メンテナンス用品	ブエノスアイレス（ウルリングアム）	http://www.3m.com.ar	接着剤、ベルト、ディスク、塗装保護フィルム、シーラント	米国	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、イベコ、メルセデス・ベンツ、プジョーシトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	
A. Giacomelli S. A.	ゴム及び金属	コルドバ（フェレイラ）	http://www.capemi.com.ar	スタビライジングバー・ハブ、ステアリング・ブーツ、トランスミッション・ブーツ、サイレント・ブロック、トランスミッション・ブラケット、エンジン・ブラケット	アルゼンチン	アルファロメオ、アウディ、BMW、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、イベコ、メルセデス・ベンツ、プジョーシトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン、その他	
Acindar	鋼	サンタフェ（ピージャ・コンスティトゥション）	http://www.acindar.com.ar	ワイヤー、ワイヤーロッド、ロールバー、引き抜きロッド、ビレット、スチール・プロファイル	アルゼンチン	詳細不明	
ACM Argentina Srl.	金属構造	サンタフェ（アルベアル）		シート構造、スタンピング部品、排気ブラケット	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、ゼネラル・モーターズ、イベコ	
Adient Automotive Argentina Srl	シート	ロサリオ（サンタフェ）		シート	米国	詳細不明	
Airca	複数	ブエノスアイレス（レメディオス・デ・エスカラダ）	http://www.airca.com.ar	溶接アSEMBリーおよびサブアSEMBリー、スタンピング部品	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード	
Aladdin Srl	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.aladdinsrl.com.ar	金属およびプラスチック部品	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョーシトロエン	
Algo Argentina Srl	ウインドーレギュレーター	ブエノスアイレス（カンパーナ）	http://www.algoargentina.com.ar	パワーウインドウ、パワーウインドウ・トランスミッション	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、イベコ、メルカドレポシション、ルノー	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Allevard Rejna Argentina	フィルターとサスペンション	コルドバ (コルドバ)	http://www.sogefigroup.com/es/brands/allevard-rejna.html	フィルター、サスペンション、スタビライジングバー、弾性板 (板バネ)、コイルスプリング	フランス	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、イベコ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン、スカニア	ティア 1
Alternativas Comerciales	タイヤ	ブエノスアイレス特別区	http://www.acsanet.com.ar	ホイール用タイヤ	アルゼンチン	詳細不明	
Altissimo	電動ファン	ブエノスアイレス (ピヤリンチ)	http://www.omer.com.ar	電動ファン、ファン・プロペラ	アルゼンチン	自動車部品企業	
Alyco Srl	ベルト・テンショナー	ブエノスアイレス特別区	http://www.alycosrl.com.ar	ベルト・テンショナー	アルゼンチン	アフターマーケット	
American Glass	ランプ	メンドーサ (サンラファエル)	http://www.americanglasssrl.com.ar	照明レンズ、主ヘッドライト	アルゼンチン	アフターマーケット	
Aniceto Gomez SA	バネ	サンマルティン (ブエノスアイレス)	http://www.ag.com.ar	コイルスプリング	アルゼンチン	国内市場および輸出	
Arbro	複数	コルドバ (リオクアルト)	http://www.steeltiger.com	アンチロールバー、プルバー、牽引バー、ピックアップトレーラーおよび自動車用電動キット	アルゼンチン	自動車部品企業	
Armetal Autopartes	ブレーキフルード	ブエノスアイレス (ティグレ)	http://www.armetal.com.ar	ブレーキフルード	アルゼンチン	アフターマーケット	
Australtub	チューブ	ブエノスアイレス (エスコバル)	http://www.australtub.com.ar	エアコンチューブ	アルゼンチン	メルセデス・ベンツおよび自動車部品企業	ティア 1
Autobat SACI	バッテリー	マルビナス・アルヘンティエーナス (ブエノスアイレス)	http://www.autobat.com.ar	スターターバッテリー、トラクションバッテリー、据置バッテリー	アルゼンチン	アフターマーケットおよびプジョー・シトロエン	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Auto-movil SRL	ワイヤー	ブエノスアイレス特別区	http://www.ferrazzi.com.ar	スパークプラグワイヤー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Autoneum Argentina	複数	コルドバ (コルドバ)	http://www.autoneum.com	防音、マット、消音、乗用車天井パネル	スイス	詳細不明	
Autopartes Argenta SA	複数	ブエノスアイレス (ビージャ・マルテリ)	http://www.argenta.com.ar	ウォッシュャー液タンク、補助ライト、フォグランプ、インジケーターライト、ヘッドライト、ブレーキランプ、テールランプ	アルゼンチン	アフターマーケット	
BAC SA	クーラー	ブエノスアイレス特別区	http://www.bacargentina.com.ar	乗客輸送用空調 (中長距離)	アルゼンチン	詳細不明	
Barack Argentina	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)		被覆ワイヤー、組立アームレスト、コンソール、ヘッドレスト、ファブリックとビニールの切断・縫製、金属部品のスタンピングと溶接、成形部品、接着剤	アルゼンチン	自動車部品企業	
Basf Argentina	塗料	ブエノスアイレス (トルトゥギータス)	http://www.basf.com.ar	OEM 塗料	ドイツ	詳細不明	
Baterías Argentinas	バッテリー	ピラール (ブエノスアイレス)		バッテリー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Bayerque Hermanos	カムシャフト	ブエノスアイレス (タンディル)	http://www.bhbayerquehnos.com.ar	カムシャフト	アルゼンチン	アフターマーケット	
BBA Autopartes	ラジエーター	ブエノスアイレス (トルトゥギータス)	http://www.bbaautopartes.com	ラジエーター	アルゼンチン	詳細不明	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Belt Tensioner Pulley Srl	ベルト・テンショナー	ブエノスアイレス (カセロス)	http://www.tensoresbtp.com	ベルト・テンショナー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Brembo Argentina SA	ブレーキ	ブエノスアイレス特別区	http://www.brembo.com	ブレーキディスク、サスペンション・ブラケット、ブレーキドラム	イタリア	フィアット、フォード、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Brgroup Srl	プラグ及びバッテリー	ブエノスアイレス (カセロス)	http://www.hescher.com.ar	グローブプラグ、バッテリー、点火および燃料ポンプ、車輪用セキュリティキット	アルゼンチン	詳細不明	
Brug SA	鉄板及びラミネート鋼板	ブエノスアイレス (キルメス)	http://www.brugsa.com.ar	トレーラーのキャンバス用金属アーチ、部品の切削、曲げ、打ち抜き、はんだ付け、および設計、部品のスタンピング、セミトレーラー用高耐性スチール製ドア	アルゼンチン	詳細不明	
Buffalo SACI	ワイパー	ブエノスアイレス (サンフェルナンド)	http://www.buffalo.com.ar	ワイパーアーム、ワイパーブレード、ワイパー駆動装置、ワイパー用モーター、ワイパーシステム	アルゼンチン	アフターマーケット	
C.G.R. SA	複数	ブエノスアイレス (ローマス・デル・ミラドル)	Teléfono: 54-11-4454-6200	金属部品やプラスチック部品のサブアセンブリー、金型、スタンピング部品、スプリング	アルゼンチン	自動車部品企業、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー	
Carlos Boero Srl	シャフト及びサスペンション	サンタフェ (アルベアル)	http://www.carlosboero.com.ar	トレーラーおよびセミトレーラー用車軸、トレーラーおよびセミトレーラー用サスペンション	アルゼンチン	トレーラーおよびセミトレーラー製造企業、イベコ、アフターマーケット、ルノー	
Carraro	シャフト	ブエノスアイレス (アエド)	http://www.carraro.com	トラクター、モーターグレーダー等用車軸および関連部品、トラクター、モーターグレーダー等用トランスミッションおよび関連部品	イタリア	トラクターおよび農機具製造企業、アフターマーケット	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Cauplas Srl	ホース	コルドバ (カミノ・ア・サンアントニオ)	http://www.cauplas.com	ゴムホース	アルゼンチン	CNH インダストリアル、トラクターおよび農機具製造企業、イベコ、MWM インターナショナル、アフターマーケット、ルノー	
Cibasa	ケーブル	ブエノスアイレス (ラヌース) および コルドバ (アルタ・コルドバ)	http://www.cibasa.com	銅線、電気ケーブル	アルゼンチン	自動車部品企業、バスおよび車体製造企業	
Cibie Argentina SA	ランプ	コルドバ (パリオ・ロス・ボウレバレス、コルドバ)	http://www.valeo-argentina.com.ar	補助ライト、フォグランプ、インジケータライト、ヘッドライト、テールランプ、室内ライト	アルゼンチン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
Coinsa SA	接着剤	ブエノスアイレス (ビージャ・マルテリ)	http://www.coinsaadhesivos.com.ar	プラスチック接着剤、不凍液、充填剤、防食保護コーティング、シーラント	アルゼンチン	フォード、プジョー・シトロエン、アフターマーケット	
Col-Ven SA	複数	サンタフェ (グアダルーペ・ノルテ)	http://www.colven.com.ar	電子タイヤゲージ、エコロジークーラー、速度制限装置、穀物損失モニター、自動モーターガード、電子脱気装置、衛星追跡サービス、遠隔データ管理	アルゼンチン	スカニアおよびボルボ (メキシコ)	
Crafmsa	鍛造鋼	サンルイス (ビージャ・メルセデス)	http://www.crafmsa.com.ar	鍛造および機械生産部品	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、イベコ、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Complementos Deportivos SA	複数	ブエノスアイレス (ビージャ・マルテリ)	http://www.complementosdeportivos.com	牽引バー、屋根用およびブーツ用車載自転車ラック、貨物収納ボックス、車載用カヤック・ラック、ルーフボックス、ラゲージ・ホルダー	アルゼンチン	詳細不明	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Concentric AB	エンジン	ブエノスアイレス (チビルコイ)	http://www.concentricab.com/index-Concentric-Worldwide-Details.asp?cat=7&subcat=717&subsubcat=717&SiteID=AB	オイルポンプ、ウォーターポンプ、シンター製品	ドイツ	自動車部品企業、フィアット、トラクターおよび農機具製造企業、ジョン・ディア、MWM、アフターマーケット、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン、スカニア	
Corven SACIF	複数	サンタフェ (ベナド・トゥエルト)	http://www.corven.com.ar	ショックアブソーバー、サスペンションおよびステアリング、ブレーキおよびクラッチ、トランスミッションおよびホイール	アルゼンチン	アフターマーケット	
Cristem SA	ガラス	ブエノスアイレス (キルメス)	http://www.cristem.com.ar	サンルーフ、フロントガラス、ラミネート・ウィンドウ、サイドウィンドウ	アルゼンチン	フィアット、プジョー、VW、メルセデス・ベンツ、アフターマーケット	
Cummins Argentina	複数	ブエノスアイレス (エルタラール)	http://www.cumminsargentina.com.ar	重工業など向けディーゼルエンジン	米国	トラクターおよび農機具製造企業	
Danese, Graciela Genovese	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.bulbosgeny.com.ar	照明、電動ファンおよび油圧スイッチ、油圧および噴射温度センサ、ディーゼル停止ソレノイド、サーモスタット	アルゼンチン	アフターマーケット	
DC Partes Turbo compresores	ターボ	ブエノスアイレス (マルティネス)		ターボチャージャー部品、ターボ	アルゼンチン	アフターマーケット	
Delphi Packard Argentina	ワイヤー	サンファン (サンタルシア)		ワイヤーハーネス	米国	自動車部品企業、イベコ、プジョー・シトロエン	ティア 1
Deutz	複数	ブエノスアイレス (アエド)	http://www.deutz.com.ar	ジェネレーター・セット、ディーゼルエンジン	ドイツ	バスおよび車体製造企業、トラクターおよび農機具製造企業	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Di Benedetto Hermanos	複数	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.retenesdbh.com.ar	リング、シール、クラッチボールベアリング	アルゼンチン	アフターマーケット	
Die Tech	複数	ブエノスアイレス (エルタラール)	http://www.dietech.com.ar	プレートシート、スタンピング、シート構造、金型、防振システム用スタンピング部品、構造部品のアセンブリーおよびサブアセンブリー	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、アフターマーケット、プジョー・シトロエン、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Dimas Miceli	複数	サンタフェ (ロサリオ)	http://www.mercosil.com.ar	トレーラー用ブレーキ装置、牽引フック、トレーラーとセミトレーラーのエアアクスリフト、トレーラーの牽引アイレット、ロッカーシャフト、調節可能な固定テンショナー	アルゼンチン	自動車部品企業	
Distribuidora Comersur	スチールホイール	ブエノスアイレス (サンニコラス)	http://www.protto.com.ar	17.5 インチ以上のスチール製ホイール	アルゼンチン	トレーラーおよびセミトレーラー製造企業、アフターマーケット	
Dow Química Argentina	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.dow.com	ポリオールおよび副生成物、酸化溶媒、ポリグリコール、解乳化剤	米国	自動車部品企業	
Dro-Pur	クロムメッキ	ブエノスアイレス (ムンロ)	http://www.dropur.com.ar	バンパークロム	アルゼンチン	アフターマーケット	
Eastman de Argentina	フィルム	ブエノスアイレス特別区		ウィンドウ用ポリビニルブチラールフィルム (pvb)	米国	詳細不明	
Eduardo H. Pérez y Hermanos	ピストン	コルドバ (カミノ・ア・サンアントニオ)	http://www.pistonespersan.com.ar	ピストン	アルゼンチン	詳細不明	
Electrair SA	クーラー	ブエノスアイレス特別区	http://www.electrair.com.ar	乗客輸送用空調 (短中長距離)	アルゼンチン	バスおよび車体製造企業、トラクターおよび農機具製造企業、アフターマーケット	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Electromecánica Alfa	複数	ブエノスアイレス (ラタブラーダ)	http://www.ealfa.com.ar	イグニッション・スイッチ、ライトスイッチ、インジケーター・スイッチ、スイッチユニット、スターターブラシホルダー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Electromecánica Vic	ランプ	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.vic.com.ar	ライト用レンズ、ライト	アルゼンチン	アフターマーケット	
Elhymec SACIF	複数	ブエノスアイレス (エルタラール)	http://www.elhymec.com	ボンネットヒンジ、ドアヒンジ、パーキングブレーキユニット、ギヤレバー、パーキングブレーキレバー、スタンプング部品、液体用チューブ	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、トヨタ	ティア 1
Establecimientos Metalúrgicos Unidos	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.emu-saic.com.ar	機械生産部品、プーリー、ドライブシャフト、ドライブシャフトブラケット	アルゼンチン	自動車部品企業、トラクターおよび農機具製造企業、フォード、ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、ルノー、スカニア、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Epínac	ブレーキバンド	ブエノスアイレス (モレノ)	http://www.epinac.com.ar	ブレーキバンド	アルゼンチン	アフターマーケット	
Equipamientos Bracco	複数	ブエノスアイレス (コロロン)	http://www.bracco.com.ar	ピックアップ用熱成形カバー、サンブガード、ブルバー、牽引フック、ランニングボード、ピックアップ用キャンバスおよびアルミフレーム	アルゼンチン	詳細不明	ティア 1
Espel SAICA	複数	ブエノスアイレス (エルパロマル)	http://www.espel.com.ar	スターターソレノイド、イグニッションコイル、コンデンサー、電子フラッシャー、ブラチナ、バイク用イグニッション製品、リレー、ソレノイド、電子タイマー	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード、アフターマーケット、プジョー・シトロエン	
Establecimientos Gamar	複数	ブエノスアイレス (ティグレ)	http://www.gamar.com.ar	アンチロールバー、シートメタルのアセンブリおよびサブアセンブリ、ヒートデフレクター、ランニングボード、シート構造、バンパー、アンダーキャリッジプロテクター、ショックアブソーバー	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、イベコ、メルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲン	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Establecimientos Romet	複数	ブエノスアイレス (ホセ・レオン・スアレス)	http://www.romet.com.ar	電動ウィンドウライザー、手動ウィンドウライザー、ロック、ステアリングコラム、ヒートデフレクター、ロックアッシーフード、ギアスティック、パーキングブレーキレバー、スタンピング部品	アルゼンチン	自動車部品企業 フォード、プジョー・シトロエン、トヨタ	ティア 1
Etma SACIF	複数	サンタフェ (ラファエラ)	http://www.etma.com.ar	ユニバーサルジョイント、Uジョイントカップリング、三脚ジョイント	アルゼンチン	アフターマーケット	
Eugenio Fallone e Hijos	オイルポンプ	ブエノスアイレス特別区	http://www.fallone.com.ar	オイルポンプ	アルゼンチン	アフターマーケット	
Fábrica Rosarina de Accesorios	ミラー	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.fra.com.ar	ウィングミラー	アルゼンチン	バスおよび車体製造企業、トラクターおよび農機具製造企業、アフターマーケット	
Facorsa SA	複数	サンタフェ (ダントフェ)	http://www.facorsa.com	熱交換器、ラジエーター	アルゼンチン	アフターマーケット	
Famar Fueguina	電子関係構成品	ティエラ・デル・フエゴ (リオグランデ)	http://www.famar.com.ar	アラーム、カーステレオ、車載コンピュータ、噴射制御モジュール	米国	自動車部品企業、フィアット、ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン、ボルボ	
Fapersa	鍛造部品	サンタフェ (サンタフェ)	http://www.fapersa.com	ピストンピン、鍛造および機械生産部品	アルゼンチン	自動車部品企業、アフターマーケット	
Farloc Argentina	ブレーキフルード	ブエノスアイレス (ホセ・レオン・スアレス)	http://www.affinia.com.ar	ブレーキフルード、クーラント	アルゼンチン	アフターマーケット	
Fate	タイヤ	ブエノスアイレス (サンフェルナンド)	http://www.fate.com.ar	乗用車およびバン用タイヤ、トラックおよびトレーラー用タイヤ、農業機械用タイヤ、大型車両用タイヤ	アルゼンチン	フィアット、フォード、イベコ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、アフターマーケット	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Faurecia Argentina SA	シート及び内装部品	ブエノスアイレス (エスコバルおよびマルビナスアルヘンティエーナス)	http://www.faurecia.com	自動車内装 (インストルメントパネル、ドアパネル、コンソールなど)、シート	フランス	ゼネラル・モーターズ、フォード、ルノー、PSA	ティア 1
Faurecia Sistemas de Escapes SA	排気システム	ブエノスアイレス (ラヌース) および コルドバ (アルタ・コルドバ)	http://www.faurecia.com	排気システム	フランス	トヨタ、ルノー、ニッサン、フォード、PSA、VW、ダイムスラー	ティア 1
Favicur ICSA	ガラス	コルドバ (コルドバ)	http://www.favicur.com.ar	サンルーフ、フロントガラス、ラミネートウィンドウ、サイドウィンドウ、強化ガラスウィンドウ	アルゼンチン	詳細不明	
Federal Mogul	複数	ブエノスアイレス (ゴンネット)	Teléfono: 54-221-471-0112 / 18	エンジン・ワッシャー、ブッシング、ロッドベアリングおよびメインベアリング、ピストン	米国	自動車部品企業、アフターマーケット、プジョー・シトロエン	
Felko Srl	アンテナ	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.felko.com.ar	フォード、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	アルゼンチン	フォード、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	
Ferrosider	複数	ブエノスアイレス (マルビナス・アルヘンティエーナス)	http://www.ferrosiderparts.com.ar	機械アセンブリー、はんだ付けアセンブリーおよびサブアセンブリー、スタンピング・コンポーネント	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード、プジョー・シトロエン	ティア 1
Fervi Air	サスペンション	ブエノスアイレス (ホセ・レオン・スアレ)	http://www.fervi.com.ar	空気圧サスペンション・アセンブリー、空気チャンバー、空気サスペンション・キット、サスペンション用レベル調整バルブ	アルゼンチン	バスおよび車体製造企業、トラクターおよび農機具製造企業	
Flex N Gate	複数	ブエノスアイレス (ルハン)	http://www.flex-n-gate.com	ヒンジ、ブーツロック、ボンネットファスナー、ジャッキ、はんだ付け構造、ドアフック、ホイールレンチ、ペダル、スタンピング・コンポーネント	米国	自動車部品企業、トラクターおよび農機具製造企業、フォード、プジョー・シトロエンルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Fras-Le Argentina	ブレーキ	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.fras-le.com	ブレーキパッド、油圧ポンプ、油圧シリンダー、ブレーキバンド、ディファレンシャル・アクスル、トレーラーおよびセミトレーラー用のアクスル、ブレーキフルード、キングピン、第5ホイール、摩擦工業製品、サーボブレーキ、引込み式ギア、ブレーキバルブ、ブレーキパッド	ブラジル	詳細不明	
Fremec	ケーブル	サンタフェ (ペレス)	http://www.fremec.com	アクセラレーター・ケーブル、ボンネット・ケーブル、クラッチ・ケーブル、ブレーキ・ケーブル、スピードメーター・ケーブル	アルゼンチン	アフターマーケット	
Fric-Rot	ショックアブソーバー	ロサリオ (サンタフェ) および サンマルティン (ブエノスアイレス)	http://www.fricrot.com.ar	ショックアブソーバー、サスペンション・コンポーネント、排気システム	米国	メルカド・デ・レボシオン、フォード、ルノー、フォルクスワーゲン、ゼネラル・モーターズ、トヨタ、PSA、メルセデス・ベンツ	ティア 1
Fundicar	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.dobleg.com	ウイングミラー、外部ドアハンドル、内部ドアハンドル、ウインドウ・ワインダー、ハブキャップ	アルゼンチン	アフターマーケット	
Fundición Santiago Martinez	複数	サンタフェ (グラナデロ・バイゴリア)	http://www.fundicionsantiagomartinez.com	エンジンブロック、シリンダーヘッド、トラクター・コンポーネント、ホイールハブ、ブレーキドラム	アルゼンチン	自動車部品企業、イベコ	
Gea de Girado Juan	複数	ブエノスアイレス (ローマス・デル・ミラドル)	http://www.gea.com.ar	電動燃料ポンプ、キャブレターおよび関連コンポーネント	アルゼンチン	自動車部品企業およびアフターマーケット	
Gestamp Baires	ワーク	ブエノスアイレス (エスコバル)	http://www.gestamp.com	アセンブリーおよびサブアセンブリー、溶接アセンブリーおよびサブアセンブリー、スタンピング、金型	スペイン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Gestamp Córdoba	ワーク	コルドバ (フェレイラ)	http://www.gestamp.com	アSEMBリーおよびサブアSEMBリー、溶接アSEMBリーおよびサブアSEMBリー、スタンピング、金型	スペイン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー	ティア 1
Gonvarri Argentina	金属	ブエノスアイレス (エスコバル)	http://www.gonvarri.com	スチールブランク、シルエット	スペイン		
HellermannTyton	クリップ	ブエノスアイレス (モレノ)	http://www.hellermanntyton.com.ar	ケーブル管、クリップおよびシールセット、スパイラルパイプ	イギリス	自動車部品企業、イベコ、フォルクスワーゲン	
Henkel	接着剤	ブエノスアイレス (サンイシドロ)	http://www.henkel.com.ar	接着剤とシーラント	ドイツ	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Hutchinson	複数	ブエノスアイレス (マルティネス)	http://www.hutchinson.com.ar	防振、ロッド、ブッシング、ウェザーストリップ、シール、ベローズ、ホース、ブラケット	米国	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、イベコ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	ティア 1
Indupla SA	複数	ブエノスアイレス (フロリダ)	http://www.indupla.com.ar	ギヤボックス・ケーシング、エアフィルター、燃料フィルター、インテリアドアハンドル、ペダル、ハブキャップ	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、プジョー・シトロエン	
Ind. Albano Cozzuol	内装外装用部品	パचेコおよびラブラタ (ブエノスアイレス) および ティエラ・デル・フェゴ (リオグランデ)	http://www.acozzuol.com.ar	自動車の内装外装用部品 (バンパー、ハンドル、ハブキャップ、タンクなど) 多数	アルゼンチン	フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	ティア 1
Ind. Konas SA	ラジエーター	ブエノスアイレス (ブルサコ)	http://www.konas.com.ar	ラジエーター	アルゼンチン	アフターマーケット	
Industrias Guidi	複数	ブエノスアイレス (ブルサコおよびサラテ)	http://www.industriaguidi.com.ar	はんだ付けアSEMBリーおよびサブアSEMBリー、スタンピング・コンポーネント	アルゼンチン	ゼネラル・モーターズ、トヨタ	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Lear	ケーブル	ブエノスアイレス (パチェコ)	http://www.lear.com	自動車産業の電気設備用ケーブル	米国	自動車部品企業、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	ティア 1
Maro	複数	ブエノスアイレス (バラデロ)	http://www.maro.com.ar	自動車用各種金属部品 (ヒンジ、ロック、スライダ、ブラケット、レバーなど)	アルゼンチン	自動車部品企業、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Mercurio Papaiani	ボルト	ブエノスアイレス (シウダデーラ)	http://www.mpapaianni.com.ar	ボルト、リベット、ネジ、ナット	アルゼンチン	自動車部品企業、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー	
Induwok	キー	ブエノスアイレス (ブルサコ)	http://www.indulock.com	ロック、イグニッション、スターターキー (盗難防止用)	アルゼンチン	詳細不明	
Interforming	複数	ブエノスアイレス (イシドロ・カサノバ)	http://www.interforming.com.ar	ピックアップ用熱成形シート、熱成形バンパー、熱成形部品	アルゼンチン	詳細不明	
Irauto SA	天井ライニング	ブエノスアイレス (ベナビデス)	http://http://www.irautoweb.com.ar	ルーフ・パネル	アルゼンチン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Jaime Serrat e Hijo	ベローズ	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.jaimeserrat.com.ar	ベローズ、ステアリング・ベローズ、サスペンション・ベローズ、トランスミッション・ベローズ	アルゼンチン	アフターマーケット	
Johsonn Matthey	触媒コンバーター	ブエノスアイレス (ピラル)	http://www.matthey.com	触媒	米国	フィアット、フォード、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ	ティア 1
Juntas Alfa	エンジン・ガスケット	ブエノスアイレス特別区	http://www.juntasalfa.com.ar	オートバイ用エンジン・ガスケット	アルゼンチン	詳細不明	
Juntas Cicarelli	エンジン・ガスケット	ブエノスアイレス (ビージャ・マデロ)	http://www.cicarelli.com.ar	エンジン・ガスケット	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、フォード、イベコ、メルセデス・ベンツ、ルノー、スカニア、トヨタ、フォルクスワーゲン	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Juntas Illinois	エンジン・ガスケット	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.juntasillinois.com	エンジンガスケット、シーラントおよび液体シール、シリンダー用キャップスクリュー	アルゼンチン	自動車部品企業、トラクターおよび農機具製造企業	
Kompusur	アラーム	ブエノスアイレス特別区	http://www.x-28.com	アラーム、セントラルロック、トラッキングおよび位置特定システム、トランスミッター	アルゼンチン	アフターマーケット	
Koval y Blanck	燃料ポンプ	ブエノスアイレス (ビージャ・マイプー)	http://www.kobla.com.ar	機械式燃料ポンプ	アルゼンチン	自動車部品企業、トラクターおよび農機具製造企業、アフターマーケット	
Kromberg & Schubert	ワイヤーハーネス	ブエノスアイレス (ピラルール)	http://www.kromberg-schubert.com	ケーブルハーネス	グローバル	メルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲン	ティア 1
LV Spada y CIA	プラグ	ブエノスアイレス (サンイシドロ)	http://www.kessel.com.ar	スパーク・プラグ	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、フォード、プジョー・シトロエン、ルノー	
L' Equipe Monteur	成形部品	ブエノスアイレス (ガリン) および コルドバ (バリオ・ロス・ボウレバレス)	http://www.lequiemonteur.com/site/	プラスチック・トリム、ダッシュボード・パネル、ドアパネル、外装プラスチック部品、内装プラスチック部品	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
Lagostena Srl	複数	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.cavila.com.ar	ボンネット、グリル、フロントバンパー、ドアパネル	アルゼンチン	アフターマーケット	
Liftgate	ガス・ショックアブソーバー	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.liftgate.com.ar	ボンネット、ブーツ等のガスショックアブソーバー	アルゼンチン	詳細不明	
Loma Hermosa Plast	バンパー	ブエノスアイレス (ロマ・エルモサ)	http://www.lomaplast.com	バンパー	アルゼンチン	自動車部品企業、アフターマーケット	
Manufactura Motores Argentinos (MMA) Srl	電動ファン	ブエノスアイレス (パブロ・ポデスタ)	http://www.johnsonelectric.com	電動ファン、電動ファン用モーター	グローバル	自動車部品企業 フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Magneti Marelli	排気	コルドバ (コルドバ)	http://www.magnetimarelli.com	触媒、排気管、サイレンサー	イタリア	自動車部品企業 フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ルノー	ティア 1
Mahle Argentina	バルブ	ブエノスアイレス (ガリン) および サンタフェ (ラファエラ)	http://www.ar.mahle.com	バルブ	ドイツ	自動車部品企業 フィアット、トラクター および農機具製造企業、ゼネラル・モーターズ、ルノー	ティア 1
Mann Hummel Argentina	複数	ブエノスアイレス (バレンティン・アルシーナ)	http://www.mann-hummel.com/mhar	オイルフィルター、エアフィルター、燃料フィルター、グリース、潤滑剤、ブレーキフルード、クーラント	ドイツ	詳細不明	ティア 1
Mastropor	ポリエチレン及びポリプロピレン部品	ブエノスアイレス特別区	http://www.mastropor.com.ar	ヘッドレスト、チャイルドシート、モールドパネル、サンバイザー	アルゼンチン	詳細不明	
Mercomax SA	ヘルメット、その他	ブエノスアイレス (ベッカル)	http://www.mercomaxsa.com.ar	オートバイヘルメット、アクセサリーおよび部品	アルゼンチン	詳細不明	
Metagal Argentina	ミラー	ブエノスアイレス (ベリャ・デ・マーヨ)	http://www.metagal.com.br	ウイングミラー、バックミラー	ブラジル	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、アフターマーケット、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Metalsa Argentina	フレーム	ブエノスアイレス (エルタラール)	http://www.metalsa.com	シャシー、構造ユニット	メキシコ	フォード、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Metalúrgica RAEI	ワーク	ブエノスアイレス (サンフェルナンド)	http://www.raei.com.ar	スタンピング部品、はんだ付けロボット	アルゼンチン	自動車部品企業、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Metalúrgica Rosarina de Fundición	金属部品	ロサリオ (サンタフェ)	http://www.metrofund.com.ar	トレーラー用ブレーキベル、ブレーキディスク、トレーラーおよびセミトレーラー用車軸、ブレーキドラム	アルゼンチン	自動車部品企業、アフターマーケット	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
MGI Coutier	複数	コルドバ (コルドバ)	http://www.mgicoutier.fr	フィルターハウジング、ウォッシャー液タンク、換気ディフューザー、外部ドアハンドル、内部ドアハンドル、吸気マニホールド、プラスチック部品、バルブキャップ	フランス	フォード、プジョー・シトロエン、ルノー	ティア 1
Mi-Pa-Met Srl	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.mipamet.com/2013/	アセンブリーおよびサブアセンブリー、溶接アセンブリーおよびサブアセンブリー、スタンピング・コンポーネント	アルゼンチン	自動車部品企業、メルセデス・ベンツ、フォード、フォルクスワーゲン、トヨタ	ティア 1
Mirgor	情報システム、音響システム等	ティエラ・デル・フエゴ (ウシュアイア)	http://www.mirgor.com.ar	空調システムおよび関連部品、情報システムおよびエンターテインメント・システム	アルゼンチン	ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
MLH Vernet	複数	ブエノスアイレス (ロストルドス)	http://www.mlhvernet.com.ar	ラジエーター・キャップ、サーモスタット	アルゼンチン	フォード、アフターマーケット、ルノー	
Multiruedas	タイヤ	ブエノスアイレス特別区	http://www.multiruedas.com.ar	スチールホイール (13 - 17 インチ)、アルミホイール (13 - 20 インチ)	アルゼンチン	自動車部品企業	
MWM International Motores	エンジン	コルドバ (ヘスス・マリア)	http://www.mwm.com.br	クランクシャフト、ディーゼルエンジン、シリンダーヘッド	ブラジル	フォード、ゼネラル・モーターズ	
Natalia Vanesa Vaccaro	スピーカー	ブエノスアイレス (ベラサテギ)	http://www.dynahertz.com	スピーカー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Nemak Argentina	アルミニウム部品	コルドバ (サンアグスティン)	http://www.nemak.com	トランスミッションケーシング、非鉄金属 (アルミニウム合金) のインジェクション、シリンダーヘッド	グローバル	フィアット、フォード、プジョー・シトロエン	
Neotek Srl	クラッチ	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.neoteksrl.com.ar	クラッチフォーク、プリー、ウォーターポンプ用プリー、クラッチレギュレーター、ベルトテンショナー	アルゼンチン	自動車部品企業、アフターマーケット	
Neubell SA	複数	ブエノスアイレス (ベナビデス)		ホイールスポーク	アルゼンチン	フォードおよびフォルクスワーゲン	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Oblan SA	フィルター	サンタフェ (サンタフェ)	http://www.ocuatro.com	エアフィルター・ハウジング、エアフィルター、プレフィルター	アルゼンチン	アフターマーケット	
Pabsa SA	シート	パチェコ (ブエノスアイレス)		シート、シートフォーム、シートフレーム、シート内装	アルゼンチン	ルノー	ティア 1
Pelzer Sistem	マット	ブエノスアイレス (ピラルール)		マット、防音	アルゼンチン	詳細不明	
Pertrak SA	エンジン、エンジン構成	コルドバ (コルドバ)	http://www.pertrak.com.ar	クランクシャフト、ロッド、シリンダーヘッド、クランク、ステアリングホイールカバー、サンプ、ガスエンジン、ディーゼルエンジン、インタークマニホールドなど	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、トラクターおよび農機具製造企業、イベコ、プジョー・シトロエン、スカニア	
Pirelli Neumáticos	タイヤ	ブエノスアイレス (メルロ)	http://www.pirelli.com/tyres/es-ar/index	乗用車およびバン用タイヤ	イタリア	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、アフターマーケット、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Plascar Argentina	成形	ブエノスアイレス (トルトゥギータス)	http://www.nowy.com.ar	ダッシュボード、ドアパネル、バンパー、プラスチック部品	アルゼンチン	詳細不明	ティア 1
Plastic Omnium División Auto Inergy	燃料タンク及びチューブ	ブエノスアイレス (フロリダ)	http://www.inergyautomotive.com	燃料タンク、充填パイプ	フランス	自動車部品企業	ティア 1
Plastic Omnium	バンパー	ブエノスアイレス (ピラルール)	http://www.plasticomnium.com	バンパー	フランス	ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
Polimetal SA	タイヤ	サンルイス (サンルイス)	http://www.polimetalruedas.com.ar/index_.php	アルミホイール (13-20 インチ)	アルゼンチン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、ホンダ、ニッサン、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Prensiplast	複数	コルドバ (ベラルディネリ) および ブエノスアイレス (エルタラール)		アームレスト、ヘッドレスト、シートフォーム、ポリウレタン・インジェクション	アルゼンチン	自動車部品企業	
PST Electrónica	電子部品	ブエノスアイレス (サンイシドロ)	http://www.pstelectronics.com.ar	アラーム、パーキングセンサー	ブラジル	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、アフターマーケット、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	
PWA Poliuretanos Woodbridge Arg.	シートフォーム	ブエノスアイレス (ピラルール)	http://www.woodbridgegroup.com	シートフォーム	カナダ	自動車部品企業およびホンダ	ティア 1
R. Neto SA	フィルター	ブエノスアイレス特別区、ブエノスアイレス (ローマス・デル・ミラドールおよびラプラタ)	http://www.wega.com.ar	オイルフィルター、エアフィルター、燃料フィルター、キャビンフィルター	アルゼンチン	自動車部品企業、アフターマーケット	
Ralaux SA	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.ralux.com.ar	ホーン、電子フラッシャー、リバースミニホーン、点火モジュール、ディーゼルエンジン用予熱器、電圧調整器、リレー、電気式タイマー	フランス	自動車部品企業、フィアット、ゼネラル・モーターズ、イベコ、アフターマーケット、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	
Resmit SA	コイルスプリング	ブエノスアイレス (ベルナル・オエステ)	http://www.resortesrm.com	コイルスプリング	アルゼンチン	アフターマーケット	
Reydel Automotive	内装部品	ブエノスアイレス (マルビナス・アルヘンティエーナス)	http://www.reydel.com/our-mission/	コンソール、ダッシュボード、ドアパネル、プラスチック部品、塗装装飾品	米国	プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
RGZ Magnetti Marelli Repuestos	複数	ブエノスアイレス (ピセンテ・ロペス)	http://www.marellicofap.com.ar	バッテリー、ショックアブソーバー、ポンプ、ライト、ミラー、その他	イタリア	アフターマーケット	
Robert Bosch	複数	ブエノスアイレス (サンイシドロ)	http://www.bosch.com.ar	バッテリー、ワイパー、スパークプラグ、フィルター、インジェクションシステムなど	ドイツ	詳細不明	
Ruedas EB Srl	タイヤ	サンタフェ (フィグイェラ)	http://www.ruedaseb.com.ar	アルミホイール (13 - 17 インチ)、アルミホイール (17.5 インチ以上)	アルゼンチン	アフターマーケット	

企業名	カテゴリ	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Sabo Argentina	リテーナー	ブエノスアイレス (ローマス・デル・ミラドル)	http://www.sabo.com.br	シール	ブラジル	自動車部品企業、フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン	
Saint Gobain Argentina	ガラス	ブエノスアイレス (トルトゥギータス)	https://www.saint-gobain.com.ar/	サンルーフ、フロントガラス、サイドウィンドウ	フランス	ホンダ、アフターマーケット、プジョー・シトロエン	ティア 1
Sanut Srl	キャブレター	ブエノスアイレス (ビージャ・リンチ)	http://www.caresa.com.ar	オイルポンプ、キャブレターおよび関連部品、オイルクーラー	アルゼンチン	自動車部品企業	
Schaeffler	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.schaeffler.com.ar	油圧クラッチ用ドライブ、ロッカーアーム、真空ポンプ、油圧ポンプ、クラッチ (ディスクおよびプレート)、サスペンション・ベアリング、ベルトテンショナー、ステアリングホイール	ドイツ	詳細不明	
Siderca	金属部品	ブエノスアイレス (カンパーナ)	http://www.tenaris.com	ドア補強バー、トレーラー車軸ブッシング、コンフォーム管状部品、継ぎ目有り無し鋼管、熱間圧延および低温延伸、ロングまたは指定サイズにカット	アルゼンチン	自動車部品企業、プジョー・シトロエン、トヨタ	
Simón Cachan SA	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.cachan.com.ar	蒸発器、熱交換器、ラジエーター	アルゼンチン	詳細不明	
SKF Argentina	複数	ブエノスアイレス (トルトゥギータスおよびサンマルティン) および サンタフェ (ロサリオ)	http://www.skf.com.ar	クラッチベアリング、グループボールベアリング、メカニカルスタンプ、集中潤滑システム、ベルトテンショナー	スウェーデン	自動車部品企業、フィアット、トラクターおよび農機具製造企業	ティア 1
Sogefi Filtration Argentina	フィルター	ブエノスアイレス (レメディオス・デ・エスカラダ)	http://www.fram.com.ar	キャニスター、オイルフィルター、エアフィルター、燃料フィルター	イタリア	自動車部品企業 フィアット、トラクター および農機具製造企業、 フォード、ゼネラル・モーターズ、イベコ、プジョー・シトロエン、ルノー	ティア 1
Soluciones Vidriadas	ガラス	ブエノスアイレス (ベラサテギ)	http://www.solucionesvidriadas.com.ar	サイドウィンドウ	アルゼンチン	アフターマーケット	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Spicer Ejes Pesados (Dana Argentina)	シャフト及びサスペンション	サンルイス (ナスチエル)	http://www.dana.com.ar	バー、サスペンションアーム、シャフト、車軸	米国	トラクターおよび農機具製造企業、フォード、イベコ、メルセデス・ベンツ、トヨタ、フォルクスワーゲン	ティア 1
Staco Srl	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.staco.com.ar	アキシシャルジョイント、ステアリングボックス、ベルトテンショナー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Stilo WG	成形	ブエノスアイレス (マルティネス)	http://www.stilowg.com	サーモプラスチック・インジェクション工具設置、金型、内装および外装プラスチック部品	アルゼンチン	詳細不明	ティア 1
Tyt SA	カバー及アクセサリ	ブエノスアイレス (ラヌース・オエステ)	http://www.tyt.sa.com.ar	シートカバーの装飾、ペット用シートカバー、オートバイカバー、ブーツオーガナイザー、ケース、ルーフボックス	アルゼンチン	フィアット、アフターマーケット、ルノー	ティア 1
Taller Baigorria SA	ボルト及びナット	ブエノスアイレス (トレス・デ・フェブレロ)	http://www.tallerbaigorria.com	ボルト、スタッド、特殊冷間変形部品	アルゼンチン	アフターマーケット	
Taranto SA	複数	ブエノスアイレス (ラプラタおよびアエド)	http://www.taranto.com.ar	ギアボックス用カムシャフト、歯車、鍛造部品、ねじ、ナット、その他	アルゼンチン	自動車部品企業 フィアット、フォード、イベコ、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、フォルクスワーゲン	
Taranto San Juan	複数	サンファン (サンファン)	http://www.taranto.com.ar	ステアリングボックス、アセンブリー、ガスケット	アルゼンチン	自動車部品企業、フィアット、トラクターおよび農機具製造企業、ゼネラル・モーターズ、イベコ、ジョン・ディア、MWM インターナショナル、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、フォルクスワーゲン	
Tazioli y Cía	複数	サンタフェ (アルベアル)	http://www.tazioli.com.ar	防振材、フロントアクスルブッシュ、ベローズ、サイレントブロック、サスペンションサポート	アルゼンチン	自動車部品企業 フィアット、ゼネラル・モーターズ	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
TCCI Manufacturing Argentina	空調用コンプレッサー	コルドバ (フェレイラ)	http://www.tccimfg.com	空調用コンプレッサー	米国	自動車部品企業	
TE Connectivity Argentina	ケーブル	ブエノスアイレス (ビセンテ・ロベス)	http://www.te.com	特殊ケーブル、電気モジュール、リレー、センサー、端子とコネクタ、熱収縮材	米国	自動車部品企業、ゼネラル・モーターズ、フォルクスワーゲン	
Tecnidra	複数	ブエノスアイレス (ロマ・エルモサ)	http://www.tecnidra.com.ar	中央油圧装置、ウインチ油圧装置	アルゼンチン	詳細不明	
Testori Srl	成形	ブエノスアイレス (ルイス・ギヨン)	http://www.testorisrl.com.ar	ダクト、コンソール、タンク、プラスチック部品、ヘッドライト、ブラケット	アルゼンチン	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、イベコ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ルノー、トヨタ、フォルクスワーゲン	
TI Automotive Argentina	チューブ	ブエノスアイレス (ビクトリア)	http://www.tiauto.com	燃料パイプアセンブリ、燃料パイプシステムアセンブリ、プラスチック燃料パイプアセンブリ、液体伝導パイプ	米国	フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
Tiper Dirección y Suspensión	ステアリング及びサスペンション	ブエノスアイレス (ラヌース・オエステ)	http://www.tiper.com.ar	アキシシャルジョイント、ロッド、タイロッドエンド、サスペンション・ボールジョイント	アルゼンチン	詳細不明	
Tovlent	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.retov.com.ar	警告三角板、グリル、サイドトリム、バンパー、バンパーブラケット、ハブキャップ	アルゼンチン	詳細不明	
Treves Argentina	マット	ブエノスアイレス (ルイス・ギヨン)	http://www.treves-group.com	マット、遮音材	フランス	フォード、ゼネラル・モーターズ、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、トヨタ、フォルクスワーゲン	
Trico Lationoamericana	ウインドーワイパー	ブエノスアイレス (ピラルール)	http://www.tricoproducts.com.ar	フロントガラス・ワイパーアーム、フロントガラス・ワイパーブレード、フロントガラス・ワイパーシステム	米国	フィアット、フォード、ゼネラル・モーターズ、アフターマーケット、プジョー・シトロエン	

企業名	カテゴリー	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Triher SA	複数	ブエノスアイレス (ホセ・C・パス)	http://vuaram.com/empresa	イグニッション・スイッチ、スイッチユニット、燃料レベルセンサー	アルゼンチン	アフターマーケット	
Tristan Marek	プラグ	ブエノスアイレス (ベナビデス)		スパーク・プラグ	チェコ	詳細不明	
Une Srl	複数	ブエノスアイレス (カセロス)	http://www.unesrl.com.ar	クロムメッキ金属	アルゼンチン	自動車部品企業	
Unionbat	バッテリー	ブエノスアイレス (サンマルティン) および エントレ・リオス (グアレグアイチュ)	http://www.unionbat.com	スターターバッテリー	アルゼンチン	CNH インドゥストリアル・アルヘンティーナ S. A.、自動車部品企業、トラクターおよび農機具製造企業、フォード、イベコ、アフターマーケット、メルセデス・ベンツ、トヨタ	
Vaer SA	複数	ブエノスアイレス特別区	http://www.vaer.com.ar	防振ボディー、プラスチック固定クリップ、スタンピング部品、プラスチックコンポーネント、リフレクター、ケージナット、シーリングナット、クイックファスナー・ナット	アルゼンチン	自動車部品企業およびアフターマーケット	
Valeo Service Argentina Emelar	複数	コルドバ (フェレイラ)	http://www.valeo-argentina.com.ar	エアコン、オルタネーター、コイル、スパークプラグ、ロック、クラッチ、フロントガラス・ワイパーブレード、ライト、スイッチ、キー、クーラント、スターターモーター、ラジエーター、センサー、燃料キャップ	フランス	アフターマーケット	
Ventalum	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.ventalum.com	ブラケット、荷物ラック、ウインドウ	アルゼンチン	トヨタ	ティア 1
Vertigo	ヘルメット	サンタフェ (ビージャ・ゴベルナドール・ガルベス)	http://www.vertigo.com.ar	オートバイ用ヘルメット	アルゼンチン	アフターマーケット	

企業名	カテゴリ	生産施設の所在地	ウェブサイト	生産・取引品目	発祥国	主な顧客	ティア
Visteon	複数	ティエラ・デル・フェゴ (リオグランデ)	http://www.visteon.com	ヒーター、キャブレター、空調コンデンサー、蒸発器、熱交換器、空調ホース、パネル、ラジエーター、空調システムおよび関連コンポーネント	米国	自動車部品企業、フォード、プジョー・シトロエン、ルノー、フォルクスワーゲン	ティア 1
VMG	ウォーターポンプ	サンタフェ (ラファエラ)	http://www.vmg-far.com.ar	ウォーターポンプ	アルゼンチン	ゼネラル・モーターズ	
Walker Argentina	複数	ブエノスアイレス (サンマルティン)	http://www.sa-tenneco-automotive.com	触媒、排気管、サイレンサー	アルゼンチン	フォード、ゼネラル・モーターズ、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、トヨタ、フォルクスワーゲン	
ZF Argentina	ショックアブソーバー	コルドバ (サンフランシスコ)	http://www.zf.com	サスペンション・ショックアブソーバー	ドイツ	トラクターおよび農機具製造企業、フィアット、フォード、メルセデス・ベンツ、ゼネラル・モーターズ、イベコ、ナビスター、プジョー・シトロエン、ルノー、スカニア、フォルクスワーゲン	ティア 1

「アルゼンチン自動車及び自動車部品産業調査報告書」

作成者： 日本貿易振興機構（ジェトロ）ブエノスアイレス事務所 TEL：+54-11-5235-0977

Ecolatina & Key Markets

